

実施計画書 兼 事業説明書

【政策 1：子育て・教育】

心豊かで自立できる人が育つまち

【施策 1-1】 教育環境の充実を図り、こどもたちの「生きる力」を育みます

【施策 1-2】 安心してこどもを産み育て、こどもたちが健やかに成長できる環境の整備を進めます

【施策 1-3】 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

【施策 1-4】かけがえのない文化財を保存・継承し、有効に活用します

【施策 1-5】スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

【施策 1-6】市民の人権意識を高めます

所 管	教育委員会
関 連	
関 連	

◆ミッション

子育て世代に、より良い子育て環境や教育環境を提供します。特に国語教育を充実させ基礎学力の確立を目指します。また、人生100年時代において豊かな人生を送るための生涯学習を充実させます。小諸の自然や歴史、文化と児童福祉など子育て・教育に適した環境を活かし、小諸ならではの子育てや生涯にわたり学びが実践できる環境を整えます。

- ◎教育環境の充実と、一人ひとりに応じた学びを支える体制を強化し、こどもたちの「生きる力」の育成を図ります。
- ◎地域総ぐるみでこどもたちを育成する取組を推進します。
- ◎生涯学習を支える環境の充実を図り、市民の主体的な学びを促進します。
- ◎かけがえのない文化財を保存・継承し、積極的に活用します。
- ◎スポーツ振興を図るとともに、高地トレーニングがまちづくりにつながるよう取組の展開を図ります。
- ◎人権啓発・人権同和教育を積極的に進め、市民の人権意識の高揚を図ります。

◆方針

- ◎教育環境の充実と、一人ひとりに応じた学びを支える体制を強化し、こどもたちの「生きる力」の育成を図ります。
こどもたちの学びを適切に支えるため、施設・設備の整備・充実とともに、一人ひとりの学びに応じた人的体制の充実を図ります。そして、「確かな学力」と「豊かな人間性」「たくましく生きるために健康や体力」の総体である『生きる力』の育成を図ります。学校再編計画に基づき令和10年度の芦原中学校区の統合小学校の開校を目指し、学校建設、学校運営の検討等を着実に進めます。また、こどもたち一人ひとりに新たな時代を生き抜くために必要となる資質・能力が育つよう、小諸市全体で小中一貫教育を推進します。
- ◎地域総ぐるみでこどもたちを育成する取組を推進します。
「こどもまんなか社会」の実現に向け、新たに設置する「こども家庭センター」と関係機関との連携を密にし、効果的な支援体制を構築し、妊娠・出産から子育てまで切れ目ない支援を図ります。あわせて、青少年の健全育成と安全・安心の確保に向け、地域総ぐるみにより取組を推進します。
- 核家族化、女性の就業率向上などにより増加する3歳未満児の保育需要に対応するための保育人材確保に努めるとともに、保育所再配置計画の策定を進めます。また、学校と家庭、地域、関係機関等との連携によるコミュニティスクールを推進するほか、民間の力の活用や地域資源の掘り起こしにより子育て環境の充実を図ります。あわせて、幼児教育と小学校教育の接続や高等学校との連携を通じて、すべてのこどもの自立と社会参加を見据えた支援を推進します。
- ◎生涯学習を支える環境の充実を図り、市民の主体的な学びを促進します。
生涯を通じた学びが広がり、生きがいづくりにつながるよう、小諸ならではの様々な資源を活かしながら、学習環境の整備、生涯学習機会の創出を図り、市民の主体的な学びを促進します。また、小諸の音楽活動を積極的に推進し、市民サークルやプロの音楽家などを支援するとともに、こどもたちを対象とした作曲コンクールを引き続き行うことなどにより、まちじゅうに音楽があふれる「音楽のまち・こもろ」の実現を図ります。
- ◎かけがえのない文化財を保存・継承し、積極的に活用します。
ふるさと「小諸」のかけがえのない文化財の保存・継承・活用等に取り組むとともに、歴史的な資料や古文書の収集・保存・研究等を一体的に進めます。また、小諸の誇りを認識し、ふるさとを愛し大切に思う心を育むため、小諸の歴史的、文化的なお宝や、自然のすばらしさなど楽しみながら体験する「ふるさと学習」を通じて、郷土愛あふれたこどもの育成に努めます。
- ◎スポーツ振興を図るとともに、高地トレーニングがまちづくりにつながるよう取組の展開を図ります。
多様なスポーツニーズに応じたスポーツを実施する機会の充実により、市民のスポーツ振興を図ります。こどもたちの育ちの一助にするため、高地トレーニングで小諸を訪れるアスリートや競技団体と市民の交流事業等を積極的に進めます。また、長野県で開催される2028国民スポーツ大会のレスリング競技成功に向けて、長野県や長野県レスリング協会など、関係団体と連携し準備を進めます。
- ◎人権啓発・人権同和教育を積極的に進め、市民の人権意識の高揚を図ります。
すべての家庭・職場・地域における社会人権同和教育や学校人権同和教育、各種研修会、啓発活動を計画的かつ積極的に推進し、こども、女性、外国人、性の多様性、同和問題、インターネット上の人権侵害など、あらゆる人権問題に対する正しい理解と認識を高め、市民の人権尊重意識の高揚を図ります。また、男女共同参画及びジェンダー平等社会の実現を目指します。

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1-1	教育環境の充実を図り、こどもたちの「生きる力」を育みます

所 管	学校教育課
関 連	一
関 連	一
関 連	一
関 連	一
関 連	一

◆現状と課題

変化の激しいこれからの社会を生きるために必要な「生きる力」である「確かな学力、豊かな人間性、健康・体力」の「知・徳・体」をバランスよく育てるため、各学校において、学校の特色を生かして創意工夫を重ねるとともに、家庭や地域と協力しながら、こどもの心身の発達の段階や特性に応じた教育活動の推進が求められています。

小諸市における学校教育に関する当面の最重要課題は、学校再編計画(令和5年7月)に基づく「小諸市全体での小中一貫教育の推進」であり、その中でハード・ソフト両面において、必要な教育環境の整備を進める必要があります。

また、個別具体的な継続的な教育課題として、「不登校」「いじめ」「学力のばらつき」の改善に向けた取組について、引き続いでの対応が強く求められています。

◆方針

目的

各学校において、こどもや学校、地域の実態を考慮して、家庭や地域など様々な関係者との連携・協働により学校教育に取り組む「社会に開かれた教育課程」を適切に編成し、こどもたちの「生きる力」を育むための学力の重要な3要素、「①基礎的な知識・技能」「②知識・技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力」「③主体的に学習に取り組む意欲」の育成を目指して、組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図る「カリキュラム・マネジメント」の推進と、「主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)」の実現に向けた授業改善を中心に教育活動を進めます。その中で、特に、不登校等の個別の課題については、事案に応じて着実に対応していきます。

上記の様な学校及び関連施設における教育活動の推進を適切に支えるため、ハード面で小諸東中学校区の当面の大規模改修、芦原中学校区の再編校整備を進めるとともに、ソフト面においては、「社会に開かれた教育課程」「カリキュラム・マネジメント」「アクティブ・ラーニング」等の実現・充実に必要な人的・物的体制の確保を図ります。

◆今後の取り組みのうち令和7年度重点方針と目標

- ・いじめの根絶に向けて、早期発見・認知する校内チーム体制によって速やかに対応する。また、不登校の対応に向けて、家庭・学校・関係諸機関の連携によるスピード感ある初期対応と当該児童生徒に寄り添う継続的な日々の支援に努める。
- ・これまでの「教師主導の一斉授業」から、子ども同士で互いに学び合う「対話的・協働的な学び」を核とした授業への転換など、小諸市全体で小中一貫教育を推進する。
- ・令和10年度の芦原新校開校に向けて、実施設計を行うとともに、組織づくり・教育課程・学校行事等を決定するためのワーキンググループを立ち上げ、具体的な学校づくりに取りかかる。
- ・休日の学校部活動の地域クラブ活動への移行に向けた実証事業に取り組む。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画

- ①各学校において、こどもの心身の発達の段階や特性、学校や地域の実態が十分考慮された適切な教育課程が編成され、それに基づき様々な関係者との連携・協働による教育活動が着実に日々実践される状態。
- ②学校教育を通じて「生きる力」を身に付けたこどもたちが、それを活かし、自立した人間として、主体的に判断し、多様な人々と協働しながら社会において活躍する状態。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	全国学力状況調査(小学6年生・中学3年生の全国平均値との対比)				
設定理由	こどもたちの「学力」の習得度合い・向上の成果を図る定量的な指標として、全市を対象とした代表的なものであるから。				
算式	令和5年度全国学力状況調査の全国平均値を100とした場合の対比				
目標値	計画策定時	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	小90.1 中91.7	計画 小92.5 中92.5	小95.0 中95.0	小97.5 中97.5	小100 中100
実績					
指標名	全国体力状況調査(小学5年生・中学2年生の全国平均値との対比)				
設定理由	こどもたちの「体力」の状況・向上の成果を図る定量的な指標として、全市を対象とした代表的なものであるから。				
算式	令和5年度全国体力状況調査全国平均値を100とした場合の対比				
目標値	計画策定時	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	小95.9 中91.0	計画 小97.0 中92.5	小98.0 中95.0	小99.0 中97.5	小100 中100
実績					
指標名	学校へ行くことを楽しいと思っている児童・生徒の割合				
設定理由	こどもたちの「主体的に学習に取り組む意欲」を把握可能な指標であり、学校へ行くことが楽しければ学校教育における「生きる力」全般の育成につながると考えられるから。				
算式	令和5年度小学6年生・中学3年生の調査結果				
目標値	計画策定時	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	小84.2 中78.0	計画 小88 中78	小88 中78	小88 中78	小88 中78
実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

今後の方針

維持

- ・豊かな心や自己肯定感の育成、いじめや不登校の対応、自校給食の安定的な維持・継続など、豊かな人間性と健やかな身体の育成を図る。
- ・小諸市全体で取り組む小中一貫教育の推進、対話的・協働的な学びの実現、言語能力の育成(伸長)など、確かな学力の育成を図る。
- ・教育活動をチームで推進する連携・協働体制の構築、小諸東中学校区の当面の大規模改修、芦原中学校区の新校整備、ICT環境の整備など、すべての教育活動を支える教育環境の整備を図る。
- ・休日の学校部活動の地域クラブ活動への移行に向け、小諸市の実情に応じた持続可能な体制づくりを確立する。

◆個別計画

教育振興基本計画／学校再編計画／学校施設長寿命化計画

◆特記事項

施策 1-1 教育環境の充実を図り、こどもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名	新規・継続	事業優先順位		
教育委員会運営費	継続	B		
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・1教育総務費・1教育委員会費	学校教育課	1:無		
【運営費】				
・地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく教育委員会の運営				
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	年度別事業費	3,259 千円	3,331 千円	3,331 千円
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円	0 千円
目的	一般財源	3,259 千円	3,331 千円	3,331 千円
	教育の機会均等及び教育水準の維持向上を図るとともに、地域の実情に応じた教育振興施策を講じる。			
	教育委員会各会議の精度を高め、活発な議論の場とする。			
	会議のペーパーレス化の実施を進める。			
	令和7年度の目標			

施策 1-1 教育環境の充実を図り、こどもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名	新規・継続	事業優先順位
姉妹都市教育委員等連携事業	継続	B
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項
一般会計・10教育費・1教育総務費・1教育委員会費	学校教育課	1:無

事業概要	・中津川市が開催する岐阜サマーサイエンススクールへの参加を支援する。 ・滑川市と坂の上小学校との交流事業を支援する。 ・明治学院大学クリスマスツリー点灯式への参加。			
	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	年度別事業費	892 千円	892 千円	892 千円
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
目的	その他	2 千円	2 千円	2 千円
	一般財源	890 千円	890 千円	890 千円
	姉妹都市との交流を通じて他地域の文化や生活に触れる機会を創出し、子どもたちの交流事業を支援する。			
	令和7年度の目標			
	・サマーサイエンススクールの参加者確保のための周知徹底。 ・補助金の適正交付。			

活動目標特記事項	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	サマー・サイエンススクールの参加人数	人	5	5	5
バス代の高騰により令和6年度に予算額を増加。					

施策 1-1 教育環境の充実を図り、こどもたちの「生きる力」を育みます

事業概要	事務事業名	新規・継続	事業優先順位			
事務局運営費	継続	B				
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・1教育総務費・1教育委員会費	学校教育課	1:無				
【運営費】						
・施策推進のための事務局運営費						
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度			
年度別事業費	1,034 千円	1,044 千円	1,127 千円			
特定財源	国・県支出金 地方債 その他	0 千円 0 千円 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円			
一般財源	1,034 千円	1,044 千円	1,127 千円			
目的	各施策推進のため適正な執行を進める。					
令和7年度の目標						
引き続き、事業の取捨選択及び課内の連携を密に図ることで生産性を高める。						
活動目標特記事項	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度	

施策 1-1 教育環境の充実を図り、こどもたちの「生きる力」を育みます

事業概要	事務事業名	新規・継続	事業優先順位			
学校運営費	継続	B				
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・1教育総務費・2学校運営費	学校教育課	1:無				
【運営費】						
・小中学校運営の支援 ・特色ある学校運営を推進するための補助金の交付 ・教職員の資質向上を図るための補助金の交付						
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度			
年度別事業費	24,921 千円	25,118 千円	24,975 千円			
特定財源	国・県支出金 地方債 その他	0 千円 0 千円 180 千円	0 千円 0 千円 180 千円			
一般財源	24,741 千円	24,938 千円	24,795 千円			
目的	小中学校における子どもの「学ぶ環境」の整備を図るとともに、適切に学校運営ができるよう支援する。					
令和7年度の目標						
・教職員の働き方改革に関する研究及び教職員の負担軽減の取り組みを継続する。 ・小中学校が実施する魅力ある学習活動及び教職員の指導力向上に関する取り組みを支援する。						
活動目標特記事項	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
「自分の考えを深めることができた」と答えた児童の割合		%	82	83	84	
「お互いの意見を生かし解決方法を決める」と答えた生徒の割合		%	67	68	69	
・令和4年度から会計年度任用職員人件費を学校運営費人件費へ移行。						

施策 1-1 教育環境の充実を図り、こどもたちの「生きる力」を育みます

	事務事業名	新規・継続	事業優先順位		
学校再編事業	継続	A			
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・1教育総務費・2学校運営費	学校教育課	2:有			
事業概要	今後の教育のあり方、児童・生徒数の減少、校舎の老朽化、小諸市公共施設等総合管理計画等の内容を踏まえ、市内小中学校のあり方について検討し策定した「小諸市学校再編計画」に基づき、小中一貫教育の推進及び推進のための学校整備を進める。				
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
年度別事業費	126,571 千円	2,035,692 千円	1,535,692 千円		
特定財源	国・県支出金 地方債 その他	0 千円 0 千円 0 千円	200,000 千円 1,292,000 千円 400,000 千円		
	一般財源	126,571 千円	143,692 千円		
目的	'小諸市学校再編計画'に基づく学校再編の推進				
	令 和 7 年 度 の 目 標				
	・小中一貫教育の推進 ・芦原中学校区再編に係る実施設計の策定				
活動目標特記事項	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	小中一貫教育推進会議の開催	回	10	10	10
	芦原中学校区再編に関わる会議等の開催	回	12	12	12
	令和6年度より長期学校改築事業を変更 令和5年度学校再編計画策定				
施策 1-1 教育環境の充実を図り、こどもたちの「生きる力」を育みます	新規・継続	事業優先順位			
部活動地域移行事業	新規	B			
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・1教育総務費・2学校運営費	学校教育課	1:無			
事業概要	学校部活動の地域クラブ活動への移行				
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
年度別事業費	7,114 千円	7,114 千円	7,114 千円		
特定財源	国・県支出金 地方債 その他	672 千円 0 千円 0 千円	672 千円 0 千円 0 千円	672 千円 0 千円 0 千円	
	一般財源	6,442 千円	6,442 千円	6,442 千円	
目的	生涯にわたり子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保する。				
	令 和 7 年 度 の 目 標				
	地域クラブ活動への移行に向けた実証事業を進める。				
活動目標特記事項	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	地域移行に向けて実証事業に取り組む種目数	数	3	3	—
	令和7年度からの新規事業				

施策 1-1 教育環境の充実を図り、こどもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名	新規・継続	事業優先順位			
教育支援センター等運営事業	継続	B			
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・1教育総務費・3教育支援費	学校教育課	2:有			
事業概要		・幼児、児童及び生徒に関する教育相談並びに不登校改善等の教育的支援を行なう。 ・支援の拠点となる教育支援センターを設置運営するとともに、中学校に不登校支援講師を配置し、連携して学びの継続のための支援を行う。			
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	年度別事業費	1,608 千円	1,623 千円	1,609 千円	
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
目的	一般財源	1,608 千円	1,623 千円	1,609 千円	
	様々な原因により集団生活への不適応や不登校となっている児童生徒の課題の改善を図るために、教育相談や自立に向けた教育支援等を行う。				
	令和7年度の目標				
	・支援センターに通室している児童生徒の学習や生活支援、適応指導などを在籍校と連携して行う。 ・長期欠席による家庭内引きこもりの児童生徒およびその家庭に対し、在籍校などの関係機関と連携して学びの継続を目指す支援(多様な学びの場の提供など)を行う。 ・集団生活への不適応等、悩みを抱えている児童生徒、保護者、担任等からの相談に応じ、教育的支援が受けられるよう関係機関と連携して対応する。				
活動目標特記事項	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	センター職員による相談訪問等対応件数	回	400	400	400
	センターに通室している児童生徒の在籍校等への復帰率	%	20	20	20
	令和4年度から、会計年度任用職員人件費を子ども相談費人件費(R6～教育支援人件費に変更)へ移行。 令和6年度、こども家庭支援課(旧子ども育成課)から移管。				

施策 1-1 教育環境の充実を図り、こどもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名	新規・継続	事業優先順位			
特別支援教育等推進事業	継続	B			
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費	学校教育課	2:有			
事業概要		・配慮を要する児童や生徒が適切な学びの場へ繋がるよう相談支援を行うとともに、教育支援委員会を運営し、適切な判断を行う。 ・学校等において、配慮を要する児童生徒に対し適切な支援が行われるよう、特別支援教育の浸透を図る。 ・学校運営を補助し配慮を要する児童生徒への支援を行うため、学校生活支援員を配置する。 ・学校生活支援員や特別支援教育に関わる教職員等のスキルアップを図るため、研修や講演会等を実施する。			
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	年度別事業費	638 千円	638 千円	638 千円	
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	0 千円	0 千円	0 千円	
目的	一般財源	638 千円	638 千円	638 千円	
	特別な教育的ニーズのあるこどもに対し、必要な支援が適切に行える環境を整備する。				
	令和7年度の目標				
	・児童生徒の状況を学校や関係機関と共有し、児童生徒本人を中心とした支援が行えるようにする。 ・支援が必要な児童生徒の支援体制を把握し、各校において効果的・効率的な支援体制に資する学校生活支援員の配置を行う。 ・学校生活支援員や児童生徒に関わる教職員等の特別支援教育に関する資質向上を図る。				
活動目標特記事項	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	教育支援相談における心理検査実施件数	件	100	100	100
	教育支援委員会において判断審議した児童・生徒数	人	70	70	70
	令和3年度から、特別支援教育等推進事業に就学指導支援事業を統合。 令和4年度から、会計年度任用職員人件費を子ども相談費人件費(R6～「教育支援人件費」に変更)へ移行。 令和6年度、こども家庭支援課(旧子ども育成課)から移管。				

施策 1-1 教育環境の充実を図り、こどもたちの「生きる力」を育みます										
事務事業名	新規・継続	事業優先順位								
小学校管理費運営費	継続	B								
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項								
一般会計・10教育費・2小学校費・1学校管理費	学校教育課	1:無								
【運営費】										
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の管理・運営 ・関係団体・事業への負担金交付 ・傷害保険の給付 ・小学校における児童・教職員を対象とした各種検診・検査の実施 									
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度							
	年度別事業費	119,457 千円	119,800 千円	119,750 千円						
特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円						
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円						
	その他	2,210 千円	2,210 千円	2,210 千円						
	一般財源	117,247 千円	117,590 千円	117,540 千円						
目的	<p>小学校の管理・運営に必要な備品等の調達など、児童の学習環境を整備する。 児童・教職員の健康管理を行うとともに、傷害保険給付により保護者の負担軽減を図る。</p>									
令 和 7 年 度 の 目 標										
<ul style="list-style-type: none"> ・全小学校においてCRT検査を実施し、学力向上につなげる。 ・QU検査又はハイパーQU検査を実施し、学級の状態把握と今後の学級経営の方針を把握する。 ・備品の適正な管理を行う。 ・適正に傷害保険給付を行い、保護者の負担軽減を図る。 ・労働安全衛生法に基づくストレスチェックを全校で実施する。 										
活動目標	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度					
	災害共済給付金の申請件数	件	190	180	170					
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度から会計年度任用職員人件費を小学校管理費人件費へ移行。 									
施策 1-1 教育環境の充実を図り、こどもたちの「生きる力」を育みます										
事務事業名	新規・継続	事業優先順位								
小学校施設維持管理事業	継続	B								
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項								
一般会計・10教育費・2小学校費・1学校管理費	学校教育課	1:無								
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校施設を維持管理するための保守点検、修繕、營繕工事など 									
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度							
	年度別事業費	37,769 千円	35,231 千円	35,231 千円						
特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円						
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円						
	その他	10 千円	10 千円	10 千円						
	一般財源	37,759 千円	35,221 千円	35,221 千円						
目的	<p>小学校施設を適切に維持・管理するため保守点検、修繕、營繕工事を行い、児童の学習環境を整備する。</p>									
令 和 7 年 度 の 目 標										
<ul style="list-style-type: none"> ・学校の要望を踏まえつつ計画的な改修、修繕工事を実施する。 										
活動目標	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度					
	施設の維持管理実施校数	校	6	6	6					
特記事項										

施策 1-1 教育環境の充実を図り、こどもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名	新規・継続	事業優先順位		
小学校給食運営事業	継続	B		
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・2小学校費・1学校管理費	学校教育課	2:有		
事業概要	自校方式で学校給食を提供する。			
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	年度別事業費	26,621 千円	29,836 千円	29,850 千円
特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	26,621 千円	29,836 千円	29,850 千円
目的	安全でおいしい学校給食を提供するとともに、食育を推進する。			

令和7年度の目標

- ・地産地消の取り組みについて、保護者などへの市民周知を引き続き行う。
- ・アレルギー対応に関するマニュアル等の検証を行い、適宜改定を行う。
- ・調理従事員研修会については、県教育委員会職員等外部から講師を招くなど、内容を充実させる。
- ・調理業務委託を見据え、各役割分担の明確化と衛生等マニュアルの整備を行う。

活動目標	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	一人当たりの給食残食量(g／年)	g	660	660	660
特記事項	・令和4年度から会計年度任用職員人件費を小学校管理費人件費へ移行。				

施策 1-1 教育環境の充実を図り、こどもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名	新規・継続	事業優先順位		
小学校教育振興支援事業	継続	B		
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・2小学校費・2教育振興費	学校教育課	1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・遠距離通学児童の保護者に対する補助金の交付 ・要保護・準要保護世帯に対する就学援助費の支給 ・特別支援教室に通う児童の保護者に対する就学奨励費の支給 ・小学校低学年時の学習習慣形成と集団生活の中での生活習慣の形成 ・小学校の理科教育備品の整備 ・「きらら会」による小学5年生を対象とした音楽体験授業の開催 			
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	年度別事業費	27,385 千円	27,385 千円	27,385 千円
特定財源	国・県支出金	1,292 千円	1,292 千円	1,292 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	26,093 千円	26,093 千円	26,093 千円
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術体験を通じて豊かな感性を養う。 ・特別な配慮や支援を必要とする児童、保護者に対して支援を行う。 			

令和7年度の目標

- ・学習指導要領に基づき、必要となる教科用備品の整備を引き続き行う。
- ・就学援助費については、学校との密な連携により対象者を確実に把握し、交付要件を確認したうえで適正に交付する。
- ・支援教員の資質向上のための研修会を実施する。

活動目標	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	支援教員への研修回数	回	2	2	2
特記事項	・令和4年度から会計年度任用職員人件費を小学校管理費人件費へ移行。				

施策 1-1 教育環境の充実を図り、こどもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名	新規・継続	事業優先順位		
小学校ICT教育推進事業	継続	A		
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・2小学校費・2教育振興費	学校教育課	2:有		
事業概要		・1人1台情報端末を活用した情報教育の推進と環境の整備 ・校務のICT化による働き方改革の推進		
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	年度別事業費	12,773 千円	16,205 千円	16,205 千円
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円	0 千円
目的		・情報通信技術を活用した教育環境の整備のほか、児童が情報に正しく向き合い、適切に利用できる力を育む。		

令和7年度の目標

- ・授業での情報端末の効果的な活用促進。
- ・ICT環境の整備促進。
- ・故障した校務用PCを計画的に更新する。

活動目標	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	パソコンを活用した授業時間の割合	%	40	40	40
特記事項		令和6年度より印刷サービスの統合にともない予算減。 令和8年度に校務用PCの入れ替え、令和9年度にchromebookの入れ替えが必要。			

施策 1-1 教育環境の充実を図り、こどもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名	新規・継続	事業優先順位		
中学校管理費運営費	継続	B		
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・3中学校費・1学校管理費	学校教育課	1:無		
事業概要		【運営費】 ・中学校の管理・運営 ・関係団体・事業への負担金交付 ・傷害保険の給付 ・中学校における生徒・教職員を対象とした各種検診・検査の実施		
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	年度別事業費	69,981 千円	69,725 千円	69,725 千円
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	2,550 千円	2,550 千円	2,550 千円
目的		中学校の管理・運営に必要な備品等の調達など、生徒の学習環境を整備する。 生徒・教職員の健康管理を行うとともに、傷害保険給付により保護者の負担軽減を図る。		

令和7年度の目標

- ・必要な教材、教具の整備を計画的に行う。
- ・備品の適正な管理を行う。
- ・適正に傷害保険給付を行い、保護者の負担軽減を図る。
- ・労働安全衛生法に基づくストレスチェックを全校で実施する。

活動目標	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	災害共済給付金の申請件数	件	190	180	170
特記事項		・令和4年度から会計年度任用職員人件費を中学校管理費人件費へ移行。			

施策 1-1 教育環境の充実を図り、こどもたちの「生きる力」を育みます												
事業概要	事務事業名	新規・継続	事業優先順位									
中学校施設維持管理事業		継続	B									
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項									
一般会計・10教育費・3中学校費・1学校管理費		学校教育課	1:無									
目的	・中学校施設を維持するための保守点検、修繕、営繕工事など											
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度									
年度別事業費		30,145 千円	20,145 千円	20,145 千円								
特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
	その他	50 千円	50 千円	50 千円								
一般財源		30,095 千円	20,095 千円	20,095 千円								
目的	中学校施設を適切に維持・管理するため、保守点検・修繕・営繕工事を行い、生徒の学習環境を整備する。											
令 和 7 年 度 の 目 標												
学校再編を見据え、芦原中学校の効率的な維持管理について検討する。												
活動目標特記事項	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度							
施設の維持管理実施校数		校	2	2	2							
施策 1-1 教育環境の充実を図り、こどもたちの「生きる力」を育みます												
事業概要	事務事業名	新規・継続	事業優先順位									
中学校給食運営事業		継続	B									
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項									
一般会計・10教育費・3中学校費・1学校管理費		学校教育課	2:有									
目的	自校方式で学校給食を提供する。											
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度									
年度別事業費		10,511 千円	10,255 千円	10,259 千円								
特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
	その他	0 千円	0 千円	0 千円								
一般財源		10,511 千円	10,255 千円	10,259 千円								
目的	安全でおいしい学校給食を提供するとともに、食育を推進する。											
令 和 7 年 度 の 目 標												
・地産地消の取り組みについて、保護者などへの市民周知を引き続き行う。 ・アレルギー対応に関するマニュアル等の検証を行い、適宜改定を行う。 ・調理従事員研修会については、県教育委員会職員等外部から講師を招くなど、内容を充実させる。 ・調理業務委託を見据え、各役割分担の明確化と衛生等マニュアルの整備を行う。												
活動目標特記事項	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度							
一人当たりの給食残食量(g／年)		g	360	360	360							
・令和4年度から会計年度任用職員人件費を中学校管理費人件費へ移行。												

施策 1-1 教育環境の充実を図り、こどもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名	新規・継続	事業優先順位		
中学校教育振興支援事業	継続	B		
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・3中学校費・2教育振興費	学校教育課	1:無		
事業概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の理科教育備品の整備 ・遠距離通学生徒の保護者に対する補助金の交付 ・要保護・準要保護世帯に対する就学援助費の支給 ・特別支援教室に通う生徒の保護者に対する就学奨励費の支給 ・アメリカ合衆国ミシガン州ホーランドのホープカレッジへの中学生の派遣 				
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	年度別事業費	23,717 千円	29,221 千円	29,221 千円
	国・県支出金	1,037 千円	1,037 千円	1,037 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		22,680 千円	28,184 千円	28,184 千円
目的	令和7年度の目標			
	<ul style="list-style-type: none"> ・理科教育備品の充実を図る。 ・特別な配慮や支援を必要とする生徒、保護者に対して支援を行う。 ・小諸市と歴史的につながりのある海外都市(大学)との交流を通じて、グローバル社会に適応できる人材を育成する。 			

活動目標	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	英語指導として、英語で発表する言語活動をした割合	%	100	100	100
	支援教員への研修回数	回	2	2	2
特記事項					
<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度から会計年度任用職員人件費を中学校管理費人件費へ移行。 ・令和7年度から部活動指導員の報酬等を部活動地域移行事業へ移行。 					

施策 1-1 教育環境の充実を図り、こどもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名	新規・継続	事業優先順位		
中学校ICT教育推進事業	継続	A		
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・3中学校費・2教育振興費	学校教育課	1:無		
事業概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・1人1台情報端末を活用した情報教育の推進と環境の整備 ・校務環境のICT化による教員の働き方改革の促進 				
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	年度別事業費	6,676 千円	8,174 千円	8,174 千円
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		6,676 千円	8,174 千円	8,174 千円
目的	令和7年度の目標			
	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での情報端末の効果的な活用促進。 ・ICT環境の整備促進。 ・故障した校務用PCを計画的に更新する。 			

活動目標	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	パソコンを活用した授業時間の割合	%	40	40	40
特記事項					
<p>印刷サービス統合により予算減。</p> <p>令和8年度に校務用PC、令和9年度にchromebookの入れ替えが必要。</p>					

施策 1-1 教育環境の充実を図り、こどもたちの「生きる力」を育みます					
事業概要	事務事業名 奨学費運営費 会計・款・項・目 小諸市奨学資金特別会計・1奨学費・1奨学費・1奨学費	新規・継続 継続 所管課 学校教育課	事業優先順位 B 市長公約事項 1:無		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・小諸市奨学金審査会の運営 ・小諸市大津秀子奨学基金、小諸市あさま奨学基金の運用管理 				
投入指標	年度別事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源	令和7年度 500 千円 0 千円 0 千円 500 千円 0 千円	令和8年度 500 千円 0 千円 0 千円 500 千円 0 千円	令和9年度 500 千円 0 千円 0 千円 500 千円 0 千円	
令和7年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・就学機会を確保するため、適正な運用に努める。 					
活動目標特記事項	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
施策 1-1 教育環境の充実を図り、こどもたちの「生きる力」を育みます					
事業概要	事務事業名 奨学費貸付事業 会計・款・項・目 小諸市奨学資金特別会計・1奨学費・1奨学費・1奨学費	新規・継続 継続 所管課 学校教育課	事業優先順位 B 市長公約事項 1:無		
目的	小諸市大津秀子奨学金の貸付と返済受納				
投入指標	年度別事業費 国・県支出金 地方債 その他 一般財源	令和7年度 6,120 千円 0 千円 0 千円 6,120 千円 0 千円	令和8年度 6,480 千円 0 千円 0 千円 6,480 千円 0 千円	令和9年度 6,480 千円 0 千円 0 千円 6,480 千円 0 千円	
令和7年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・就学機会の拡大を図るため、適正な運用に努める。 					
活動目標特記事項	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度

施策 1-1 教育環境の充実を図り、こどもたちの「生きる力」を育みます

事務事業名	新規・継続	事業優先順位				
奨学費給付事業	継続	B				
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項				
小諸市奨学資金特別会計・1奨学費・1奨学費・1奨学費	学校教育課	1:無				
事業概要	小諸市あさま奨学金の給付					
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度			
	年度別事業費	7,680 千円	7,680 千円	5,760 千円		
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
	その他	7,680 千円	7,680 千円	5,760 千円		
目的	一般財源	0 千円	0 千円	0 千円		
	家庭的、経済的な理由により就学が困難な大学進学希望者に対して奨学金を給付し、就学機会の拡大を図る。					
令和7年度の目標						
・就学機会を確保するために、適正な運用に努める。						
活動目標特記事項	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
基金への追加積立が無い場合、令和8年度を最後に令和9年度給付生の新規募集は停止する。						

事務事業名			新規・継続
会計・款・項・目			継続
一般会計・10教育費・1教育総務費・1教育委員会費			学校教育課
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	年度別事業費	109,703 千円	109,699 千円
	国・県支出金	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円
一般財源		109,703 千円	109,699 千円
事務事業名			新規・継続
学校運営費人件費			継続
会計・款・項・目			所管課
一般会計・10教育費・1教育総務費・2学校運営費			学校教育課
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	年度別事業費	54,931 千円	54,931 千円
	国・県支出金	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円
一般財源		54,931 千円	54,931 千円
事務事業名			新規・継続
原油価格・物価高騰対応事業			継続
会計・款・項・目			所管課
一般会計・10教育費・1教育総務費・2学校運営費			学校教育課
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	年度別事業費	30,000 千円	30,000 千円
	国・県支出金	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円
一般財源		30,000 千円	30,000 千円
事務事業名			新規・継続
教育支援費人件費			継続
会計・款・項・目			所管課
一般会計・10教育費・1教育総務費・3教育支援費			学校教育課
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	年度別事業費	86,609 千円	87,365 千円
	国・県支出金	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円
一般財源		86,609 千円	87,365 千円
事務事業名			新規・継続
小学校管理費人件費			継続
会計・款・項・目			所管課
一般会計・10教育費・2小学校費・1学校管理費			学校教育課
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	年度別事業費	242,355 千円	245,047 千円
	国・県支出金	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円
一般財源		242,355 千円	245,047 千円
事務事業名			新規・継続
中学校管理費人件費			継続
会計・款・項・目			所管課
一般会計・10教育費・3中学校費・1学校管理費			学校教育課
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	年度別事業費	81,207 千円	79,402 千円
	国・県支出金	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円
一般財源		81,207 千円	79,402 千円

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1-2	安心してこどもを産み育て、こどもたちが健やかに成長できる環境の整備を進めます

所 管	こども家庭支援課
関 連	健康づくり課
関 連	福祉課
関 連	学校教育課
関 連	一
関 連	一

◆現状と課題

少子化や、核家族化、地域での人ととのつながりの希薄化など、こどもや家庭を取り巻く環境が大きく変化し、これに伴って、子育てに関するニーズが増大するとともに、複雑・多様化しており、対応が求められています。共働き家庭の増加などから、未満児保育需要が増加しており保育人材の確保が課題であり、同様に、児童クラブ、児童館を利用する就学児童も増加しており厚生員、指導員の確保も課題となっています。また、子育てに不安を抱える家庭への支援や、こどもの貧困問題、ヤングケアラーへの対応、児童虐待防止対策などが課題となっています。

◆方針

目的

若者の出会いや結婚の希望の実現に向けた支援の充実を図るとともに、誰もが安心して子育てができるよう、ファミリーサポートセンター事業の拡充などにより住民による子育て支援を進めます。また、保育園においては将来にわたりより良い保育環境が維持できるよう保育士の確保を図るとともに、民間施設とも連携しながら保育園の再配置計画の策定を進めます。「こども家庭センター」を中心に、妊産婦から18歳までのこどもや子育て世帯に対し切れ目なく府内組織と一体的な相談・支援を行います。そのうえで、こどもの貧困やヤングケアラー等の複層化する課題を重視して、支援を必要とするこども及び子育て家庭を早期に把握し、関係機関や民間事業者との連携により、課題解決に向けた「より添った支援」の充実を図ります。特に、こどもの育ちの支援においては、切れ目のない継続的な支援体制や学びの機会が確保されるよう、教育委員会をはじめとした関係機関との連携を強化します。

また、すべてのこども・若者が尊重され、社会との関わりの中で自尊感情や自己肯定感を育み健やかに成長できるよう、家庭や地域と必要な役割を共有し、協働による次世代を担うこども・若者の健全育成を目指します。

◆今後の取り組みのうち令和7年度重点方針と目標

- ・子育て家庭のニーズや子どもの意見を踏まえて策定した「こども計画」の進行管理を行い、関係機関と連携して取り組む。
- ・こどもと子育て家庭への総合的な窓口として設置した「こども家庭センター」において、児童虐待への迅速な対応と、子どもの権利擁護の意識を持ちこどもの声を聞くとともに、家庭への支援を的確に実施するため、関係機関との連携強化を図る。
- ・保育所等再配置計画策定を進める。
- ・未満児保育ニーズに対応できるよう保育人材の確保に努めるとともに、保育士業務の効率化及び質の向上を進めるなど保育環境の充実を図る。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画

- ①出会いや結婚を希望する人にその機会があり、安心してこどもを産み育てられる状態。
- ②すべての子どもの権利が擁護され適切な保育や養育がなされている状態。
- ③支援を必要とするこどもや若者、子育て家庭に必要な支援がなされている状態。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	子育てしやすい環境づくりに対する市民満足度(市民意識調査)					
設定理由	こどもが心身ともに健やかに育つために、安心して子育てができる環境が必要であるから。					
算式	市政への満足度(1)子育てしやすい環境づくり 満足+やや満足+普通の合計			単位	%	
目標値	計画策定時	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	47.7	計画 50 実績	50.5	51	51.5	
指標名	育成会など地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりに対する市民満足度(市民意識調査)					
設定理由	安心して子育てをするためには、地域全体でこどもを見守る環境が必要であるから					
算式	市政への満足度(1)子育てしやすい環境づくり 満足+やや満足+普通の合計			単位	%	
目標値	計画策定時	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	52	計画 52.5 実績	53	53.5	54	
指標名						
設定理由						
算式				単位		
目標値	計画策定時	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
		計画				
	実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

今後の方針	拡充
-------	----

・「こども計画」に基づき、こども・若者支援に関する各種事業を進めるとともに、関係機関との連携を図り進捗管理を行う。 ・子どもの権利擁護の意識を持ち子どもの声を聞くとともに、子育て世帯への相談支援の強化に向け、関係機関と連携し「こども家庭センター」の機能の拡充を図る。 ・核家族化、女性の就業率向上などから増加する3歳未満児の保育需要に対応するため保育人材確保策の取組を行うとともに、保育園のあり方についての検討を行う。 ・子育て関連施設の安定的な運営につながる施設のあり方について検討を行う。 ・ひとり親や困難な問題を抱える女性等への支援策の充実を図る。

◆個別計画

こども計画／地域福祉計画・地域福祉活動計画

◆特記事項

--

施策 1-2 安心してこどもを産み育て、こどもたちが健やかに成長できる環境の整備を進めます

事業概要	事務事業名	新規・継続	事業優先順位	
	保育所運営事業	継続	B	
	会計・款・項・目	所管課	市長公約事項	
	一般会計・3民生費・3児童福祉費・3保育所費	こども家庭支援課	2:有	
保護者の就労等により、保育が必要なこどもたちが心身ともに健やかに育つよう、養護の行き届いた環境を整え、公立保育園を運営する。				
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	年度別事業費	171,415 千円	169,715 千円	176,740 千円
	特定財源	国・県支出金 6,585 千円	6,585 千円	6,585 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	23,260 千円	23,260 千円	23,260 千円
目的	一般財源	141,570 千円	139,870 千円	146,895 千円
	子育て世帯が安全に通園させられる保育の場を提供し、保護者が安心して子育てのできる環境にするため。入所するこどもに、乳幼児期にふさわしい生活の場を提供しこども主体の保育を行い、保護者とともにこどもたちを心身ともに健やかに育てる。			

令和7年度の目標

- ・小諸市こども計画に沿った事業を実施する。
- ・安全計画に基づいた安全確保のための取組を実施し、安心できる保育園運営を行う。
- ・給食調理業務について、委託業者との連携を図るとともに適切な評価を実施する。
- ・保育園ICTを定着させ、保育士業務の効率化を図り、保育の質を向上させる。
- ・潜在的待機児童の解消に向けて、保育士の人材確保に努める。
- ・感染症等や施設の維持管理等についての安全対策を実施し、安全に過ごせる保育環境を整備する。

活動目標特記事項	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	待機児童数	人	0	0	0
保育所の運営について、施設の統廃合、保育所のあり方について検討が必要。 女性の就業率の向上や早い段階での職場復帰など3歳未満児の入所ニーズが増え、保育士不足が恒常化しているため、保育士の確保と保育士確保策等の検討が課題。					

施策 1-2 安心してこどもを産み育て、こどもたちが健やかに成長できる環境の整備を進めます

事業概要	事務事業名	新規・継続	事業優先順位	
	子ども・子育て支援事業	継続	B	
	会計・款・項・目	所管課	市長公約事項	
	一般会計・3民生費・3児童福祉費・3保育所費	こども家庭支援課	2:有	
子どもの成長支援・子育て世帯への支援の総合的な展開を「子ども・子育て支援新制度」により図る。就学前の子育て支援に関する事業(私立保育園、認定こども園、幼稚園、家庭的保育事業、病後児保育等)を統合的に所管し、新制度による認定給付システムの運用をスムーズに実施する。				
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	年度別事業費	875,998 千円	931,118 千円	938,623 千円
	特定財源	国・県支出金 619,925 千円	662,200 千円	666,700 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	15,373 千円	15,373 千円	15,373 千円
目的	一般財源	240,700 千円	253,545 千円	256,550 千円
	法律に従った子育て支援の事業・給付を適切に提供し、子育て世帯への支援を行い、子どもの健全な成長を保障する環境を整備する。			

令和7年度の目標

- ・病児病後児保育施設(こもろスマイル園)について関係者と連携を図り、適切な運営を行う。また、事業のPRを強化し利用促進を図る。
- ・幼保無償化について、適正な運用、給付を行う。また、特定教育・保育施設が行う事業内容を把握し、適切に補助金等を交付する。
- ・こども誰でも通園制度の本格実施に向け、保育士の確保と施設及び給付の体制を整える。

活動目標特記事項	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	子ども・子育て制度の利用率	%	100	100	100
待機児童数					

施策 1-2 安心してこどもを産み育て、こどもたちが健やかに成長できる環境の整備を進めます

事務事業名	新規・継続	事業優先順位		
子どもセンター運営事業	継続	B		
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項		
一般会計・3民生費・3児童福祉費・5子育て支援費	こども家庭支援課	1:無		
事業概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の子育て環境の向上のため親子が安心して過ごすことのできる施設運営 ・子育てについて情報を発信し、必要な育児相談を日常的に実施 ・放課後の児童生徒の安全対策、健全育成のための施設運営 				
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	年度別事業費	30,837 千円	31,048 千円	31,150 千円
	国・県支出金	6,140 千円	6,140 千円	6,140 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	316 千円	316 千円	316 千円
目的	一般財源	24,381 千円	24,592 千円	24,694 千円
	子育て中の保護者の孤立化などにより、育児サポートが必要な状況が見受けられるため、子育て環境充実のため施設サービスを提供し、家庭での安定した育児を支援する。また放課後に児童が安全安心に過ごすことができる居場所を提供し健全な育成を図る。			

令和7年度の目標

- ・保護者がサービスを必要としたときの選択肢の一つとして検討できるよう広報こもろ等を活用して周知活動を積極的に行う。
- ・利用者ニーズを踏まえ、個人相談業務の充実を図ると併に、人材確保に努める。
- ・入退館システム及び利用料のキャッシュレスシステムを導入し、利用児童及び保護者の利便性の向上と安全安心な施設運営を行う。

活動目標	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	出生届け時・小学校入学説明会での案内配布率	%	100	100	100
	利用者数	人	22,000	22,000	22,000
特記事項					

施策 1-2 安心してこどもを産み育て、こどもたちが健やかに成長できる環境の整備を進めます

事務事業名	新規・継続	事業優先順位		
児童クラブ運営事業	継続	B		
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項		
一般会計・3民生費・3児童福祉費・5子育て支援費	こども家庭支援課	1:無		
事業概要				
保護者の就労等により保育を必要とする児童に対し、放課後の安全確保と、保護者に代わり健全な育成を図る施設の運営				
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	年度別事業費	24,312 千円	24,293 千円	24,196 千円
	国・県支出金	12,044 千円	12,044 千円	12,044 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	3,500 千円	3,500 千円	3,500 千円
目的	一般財源	8,768 千円	8,749 千円	8,652 千円
	子育て環境充実のため、放課後の児童生徒が安全安心に生活できる居場所を提供し、健全な育成を図るとともに、就労している保護者の負担を軽減させる施設サービスを提供する。			

令和7年度の目標

- ・小諸市こども計画及び制度に沿った施設運営を行う。
- ・職員配置や施設修繕などを行い、利用者に安全な環境を提供する。
- ・利用料のキャッシュレスシステムを導入し、保護者の利便性の向上を図る。

活動目標	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	該当小学校における新入学児童の保護者説明会の実施割合	%	100	100	100
	児童クラブ利用希望者の受入割合	%	100	100	100
特記事項					

施策 1-2 安心してこどもを産み育て、こどもたちが健やかに成長できる環境の整備を進めます

事務事業名	新規・継続	事業優先順位	
児童施設運営事業	継続	B	
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項	
一般会計・3民生費・3児童福祉費・5子育て支援費	こども家庭支援課	1:無	
事業概要	児童に健全な遊びを通して、その健康を増進し、情操を豊かにする児童館の運営		
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費	47,803 千円	47,957 千円	47,995 千円
特定財源	国・県支出金 地方債 その他	194 千円 0 千円 1,717 千円	194 千円 0 千円 1,717 千円
目的	18歳未満のすべてのこどもを対象に、遊びや生活の援助、地域における子育て支援を行い、こどもを心身ともに健やかに育成することを目的とする。		

令和7年度の目標

- ・小諸市こども計画及び制度に沿った施設運営を行う。
- ・職員配置や施設修繕などを行い、利用者の安全な環境を提供する。
- ・入退館システム及び利用料のキャッシュレスシステムを導入し、利用児童及び保護者の利便性の向上と安全安心な施設運営を行う。

活動目標	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	該当小学校の新入学児童に対する保護者説明会の実施割合	%	100	100	100
	児童館利用希望者の受入割合	%	100	100	100
特記事項					

施策 1-2 安心してこどもを産み育て、こどもたちが健やかに成長できる環境の整備を進めます

事務事業名	新規・継続	事業優先順位	
青少年育成補導推進事業	継続	B	
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項	
一般会計・3民生費・3児童福祉費・5子育て支援費	こども家庭支援課	1:無	
事業概要	青少年の健全な成長の啓発及び地域での活動支援として、各地域や小中学校における事業の支援を行うほか、青少年の非行防止のための巡回活動、有害環境の排除を行う。		
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費	2,864 千円	2,864 千円	2,864 千円
特定財源	国・県支出金 地方債 その他	0 千円 0 千円 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円
目的	青少年が社会との関わりを自覚しつつ、自律した個人として自己を確立し向上していくように、また青少年の健やかな成長のために支援していく。		

令和7年度の目標

- ・青少年補導委員の公募委員を増やす。
- ・青少年健全育成推進のため、補導委員会が各区育成会やPTA支部と連携を図り、現在おかれている青少年の課題や問題点に対応できる体制の強化を行う。

活動目標	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	公募による青少年補導委員	人	5	5	5
特記事項	青少年健全育成都市宣言に関する決議(平成9年3月21日)				

施策 1-2 安心してこどもを産み育て、こどもたちが健やかに成長できる環境の整備を進めます

事業概要	事務事業名	新規・継続	事業優先順位
	子ども家庭支援事業	継続	B
	会計・款・項・目	所管課	市長公約事項
一般会計・3民生費・3児童福祉費・5子育て支援費	こども家庭支援課	2:有	
・全ての妊産婦、子育て世帯、こどもへ一体的に相談支援を行う機能を有する機関であるこども家庭センターを設置し、母子保健と児童福祉部門の連携・協働を進め、虐待への予防的な対応、個々の家庭に応じた支援の切れ目ない対応を行う。 ・要保護児童対策地域協議会の調整機関として、児童虐待防止および子どもの権利擁護のため関係機関と連携してこどもや家庭を支援する。			
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費	16,234 千円	16,234 千円	16,234 千円
特定財源	国・県支出金 地方債 その他	10,372 千円 0 千円 0 千円	10,372 千円 0 千円 0 千円
一般的財源	5,862 千円	5,862 千円	5,862 千円
目的	こども家庭センターを中心に、妊産婦から18歳までのこどもや子育て世帯に対して、庁内組織と一体的に切れ目ない相談・支援を行う。		

令和7年度の目標

- ・こどもと子育て家庭への総合的な相談窓口として設置した「こども家庭センター」において、児童虐待に関して迅速な対応を行い、こどもと家庭への支援を的確に行う。
- ・子どもの権利擁護の意識をもって、子どもの声を聞き支援を行う。
- ・こどもや家庭の個別支援にあたり、関係する機関が専門性を生かしチームとなって適切な支援を行えるよう、連携、調整を行う。
- ・こどもや家庭支援に関する必要なサービスや支援等の地域資源の把握と資源の開拓を行っていく。

活動目標 特記事項	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	市内における養護相談数のうち、市が直接受付した割合	%	40	40	40
	母子保健に対する乳幼児健診時のアンケートによる満足度	%	92.6	92.6	92.6

施策 1-2 安心してこどもを産み育て、こどもたちが健やかに成長できる環境の整備を進めます

事業概要	事務事業名	新規・継続	事業優先順位		
	子育て支援総務費運営費	新規	B		
	会計・款・項・目	所管課	市長公約事項		
一般会計・3民生費・3児童福祉費・5子育て支援費	こども家庭支援課	1:無			
事業概要	小諸市こども計画の推進 ファミリーサポートセンター事業の実施				
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
年度別事業費	5,890 千円	5,844 千円	5,844 千円		
特定財源	国・県支出金 地方債 その他	2,200 千円 0 千円 0 千円	2,200 千円 0 千円 0 千円		
一般的財源	3,690 千円	3,644 千円	3,644 千円		
目的	誰もが安心して子育てができるよう、ファミリーサポートセンター事業による地域における育児の相互援助活動を推進する。				
活動目標 特記事項	令和7年度の目標				
	・小諸市こども計画を効果的に推進するため、計画の進捗管理に向けた取り組みの評価方法等の検証する。また、定期的に子ども・子育て会議を開催し、こども施策について意見聴取を行う。				
	・ファミリーサポートセンター事業について、委託事業者と連携し広報等を実施し、利用促進を図る。				
活動目標 特記事項	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	ファミリーサポートセンター事業の利用件数	回	130	130	130
	組織機構改革により、保育所費から移行した。				

事務事業名			新規・継続
児童福祉総務費人件費			継続
会計・款・項・目			所管課
一般会計・3民生費・3児童福祉費・1児童福祉総務費			こども家庭支援課
投入指標	年度別事業費	令和7年度	令和8年度
	国・県支出金	96,870 千円	94,164 千円
	地方債	5,270 千円	5,270 千円
	その他	0 千円	0 千円
	一般財源	91,600 千円	88,894 千円
事務事業名			新規・継続
保育所費人件費			継続
会計・款・項・目			所管課
一般会計・3民生費・3児童福祉費・3保育所費			こども家庭支援課
投入指標	年度別事業費	令和7年度	令和8年度
	国・県支出金	568,895 千円	574,384 千円
	地方債	2,800 千円	2,800 千円
	その他	0 千円	0 千円
	一般財源	37,431 千円	37,431 千円
			534,153 千円
			540,854 千円

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1-3	生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

所 管	文化財・生涯学習課
関 連	一
関 連	一
関 連	一
関 連	一
関 連	一

◆現状と課題

美術館、記念館では、新型コロナウイルス感染症の影響により減少した入館者をとりもどすため、集客に力を入れていますが、回復まで至っていません。図書館は開館以来多くの市民に利用いただいていますが、文化センターは各施設とも利用者数が減少傾向で推移しています。また、各館における講座等の参加者数は安定していますが、参加者の裾野を広げていくことが課題です。

美術館、記念館等の生涯学習施設は経年劣化が進んでおり、施設すべての長寿命化を実現するためには、多額の費用を要します。

◆方針

目的

市民の主体的な「学び」を促進するため、魅力ある企画展や市民ニーズを踏まえた各種講座・教室を開催し、生涯学習の企画を創出します。また、小諸の歴史的、文化的なお宝や自然の素晴らしさなどを楽しみながら体験する「ふるさと学習」を推進し、ふるさとを愛し大切に思う、郷土愛あふれたこどもの育成を図ります。

生涯学習施設については、各施設の老朽化等を踏まえ管理計画を策定し、環境整備を行います。
「音楽のまち・こもろ」では、あらゆる世代における音楽文化の発展のため、小諸の音楽活動を積極的に推進し、作曲コンクールやミニコンサート等、これまで実施してきた事業の創意工夫と見直しにより充実を図ります。

◆今後の取り組みのうち令和7年度重点方針と目標

- ・学びのまち・こもろ出前講座や公民館講座などの各種講座・教室について、市民ニーズを踏まえた内容の充実を図る。また、小山敬三記念小諸公募展や小諸・藤村文学賞など全国規模のイベントの市民参加を一層促すため、更なる講座の充実を図る。
- ・子どもたちの「ふるさと学習」を推進するため、学校からの移動手段などの支援策を講じる。
- ・「音楽のまち・こもろ」では、音楽に親しむ機会の充実や、市民の音楽活動を推進する。また学校部活動の地域移行、連携に合わせ、あらゆる世代が参加できる音楽活動の体制づくりを検討する。
- ・市民の知の拠点として、また多様な文化の出会う場として、居心地のよい図書館づくりを推進する。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画

- ①市民が主体的に学び、自らを高め、学びの成果を地域で活かし、生きがいをもって生活している状態。
- ②生涯学習施設が適切に管理・運営され、市民が芸術・文化にいつでもふれることができる状態。
- ③市民が作曲コンクールやミニコンサートなどにより音楽にふれ、生き生きと暮らしている状態。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	文化・芸術を感じている人の割合(市民意識調査)					
設定理由	文化・芸術を感じている人の割合が高まれば、市民の主体的な「学び」が促進されていると考えられるから。					
算式	市民意識調査「文化・芸術を感じている人の割合」の「そう思う」「ややそう思う」の合計			単位	%	
目標値	計画策定時		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	41	計画	42	43	44	45
指標名	芸術・文化に親しむ機会の充実に対する市民満足度(市民意識調査)					
設定理由	芸術・文化に親しむ機会の充実に対して満足を感じている人の割合が高くなれば、市民が芸術・文化にいつでもふれることができると考えられるから。					
算式	市民意識調査「芸術・文化に親しむ機会の充実」の「満足」、「やや満足」、「普通」の合計			単位	%	
目標値	計画策定時		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	71.3	計画	72	73	74	75
指標名	ミニコンサートの鑑賞者数					
設定理由	ミニコンサートの鑑賞者数が多くなることにより、市民が音楽にふれ、生き生きと暮らすことができると考えられるから。					
算式	ミニコンサート鑑賞者数の実績値			単位	人	
目標値	計画策定時		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	1,069	計画	1,100	1,133	1,167	1,200
指標名	実績					

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

今後の方針

維持

- ・市民ニーズを踏まえた魅力ある講座や教室、企画展、イベントなどを開催する。
- ・出前講座の内容を定期的に見直し、参加しやすい学びの場を提供する。
- ・子どもたちの「ふるさと学習」を推進するため、学習機会を創出する。
- ・「音楽のまち・こもろ」の実現のため、各種事業の充実や新規事業の創出を図る。
- ・みんなの役に立つ図書館として、学習活動、市民活動、余暇活動の場と情報提供を行う。

◆個別計画

教育振興基本計画／子ども読書活動推進計画

◆特記事項

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位			
社会教育総務費運営費	継続	B			
一般会計・10教育費・5社会教育費・1社会教育総務費	文化財・生涯学習課	1:無			
事業概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育費関係事業の総合調整 ・社会教育委員会の開催、運営。 ・市民のニーズに応じた出前講座を開催し、市民の「学び」を促進し、生涯の生きがいづくりにつなげる。 ・学校の授業活動において、市内の公共施設を利用した見学や体験、総合的な学習等がより効果的に行えるよう、出前講座と校外学習を組み合わせた「ふるさと学習」の推進を図る。 					
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	年度別事業費	1,682 千円	1,682 千円	1,682 千円	
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	37 千円	37 千円	37 千円	
目的		一般財源	1,645 千円	1,645 千円	1,645 千円
令和7年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員連絡会から提出された提言書の活用等により社会教育・生涯学習の推進に係る取組みを行う。 ・ふるさと学習推進のため、学びのまち-こもろ出前講座の学校からの利用にあたって、史料等の紹介やコーディネートを行うとともに、学校から市内各施設への移動支援を行う。 					

活動目標特記事項	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	社会教育委員連絡会開催回数	回	4	4	4
	学びのまち-こもろ出前講座 利用回数(学校からの申込分)	回	30	35	40
二十歳を祝う会の開催関係は、令和7年度から「二十歳を祝う会開催事業」として事業を分割。					

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位			
小諸藤村文学賞事業	継続	B			
一般会計・10教育費・5社会教育費・1社会教育総務費	文化財・生涯学習課	1:無			
事業概要					
<p>「小諸・藤村文学賞」の作品募集、審査、表彰など （「小諸藤村文学賞」は、平成4年に、藤村生誕120年、没後50年を記念して創設された。作品の応募は、日本全国からにとどまらず海外からの応募もある。）</p>					
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
	年度別事業費	3,801 千円	3,717 千円	3,717 千円	
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他	95 千円	95 千円	95 千円	
目的		一般財源	3,706 千円	3,622 千円	3,622 千円
令和7年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・全国に小諸藤村文学賞の応募に向けた情報発信を行う。 ・第28回から新設した市民対象の賞のPRを行い、小諸市内の応募者、特に中学生、高校生からの応募増に努める。 ・市民に入選作品を紹介することにより、生涯学習の推進を図る。 					

活動目標特記事項	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	一般応募者数	人	870	870	870
	市内中高生応募者数	人	400	400	400
<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度から活動目標「一般応募者数」について、実績を踏まえ増加から過去の水準回復に変更 ・令和6年度から活動目標「市内中高生応募者数」について、目標を達成したことから現在の水準維持に変更、実績を踏まえ令和7年度に上方修正。 					

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位	
史料館等管理事業	継続	B	
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項	
一般会計・10教育費・5社会教育費・1社会教育総務費	文化財・生涯学習課	1:無	
事業概要	史料館等の運営、維持管理を行う。		
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費	4,281 千円	4,800 千円	4,800 千円
特定財源	国・県支出金 地方債 その他	0 千円 0 千円 50 千円	0 千円 0 千円 50 千円
目的	社会教育施設について、地域における文化資産を守り学習推進のための拠点とするため、機能の充実を図る。		

令和7年度の目標

- ・資料の収集を行い、それらの調査・研究ならびに普及、教育活動を行う。また、地域の歴史・文化を守るために古文書学習講座を開催し、人材育成を進める。
- ・郷土博物館の収蔵品の安全を確保するとともに、一部は移動、あるいは図書館の郷土コーナーでの展示等により公開していく。
- ・御影用水史料館の雨漏り修理を行う。合わせて効果的な運営について、地域と共に検討する。

活動目標	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	古文書の目録等の作成件数(累計)	冊	10	11	12
	古文書学習講座の参加人数(延べ数)	人	550	550	550
特記事項	・令和6年度から活動目標「古文書の目録等作成件数(累計)」の内容について、目録に限らず史料整理の成果を対象とするよう変更した。				

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位	
音楽のまち・こもろ推進事業	継続	B	
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項	
一般会計・10教育費・5社会教育費・1社会教育総務費	文化財・生涯学習課	2:有	
事業概要	まちじゅうに音楽があふれる「音楽のまち・こもろ」をめざして、作曲コンクールやミニコンサートのほか各種事業を推進する。		
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費	1,897 千円	1,897 千円	1,897 千円
特定財源	国・県支出金 地方債 その他	0 千円 0 千円 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円
目的	まちじゅうに音楽をあふれさせることにより、まちを活性化し、小諸市民に元気や勇気、潤いや癒しを与える。		

令和7年度の目標

- ・月1回ミニコンサート(まちタネライブを含む)を開催する。
- ・「音楽のまち・こもろ作曲コンクール」について、応募者を増やす取組みを継続して実施する。
- ・音楽活動に関わる市民等に意見聴取し、事業推進に反映させる。
- ・音楽活動を実践している市民(団体・個人含む)のネットワークづくりを支援する。

活動目標	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	音楽のまち・こもろ作曲コンクールの応募件数	件	200	200	200
	ミニコンサートの開催回数	回	12	12	12
特記事項					

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事業概要	事務事業名	新規・継続	事業優先順位
	図書館運営事業	継続	B
	会計・款・項・目	所管課	市長公約事項
	一般会計・10教育費・5社会教育費・2図書館費	文化財・生涯学習課	1:無
市民が健康で生きがいを持ち、”自分らしく居られ、自分に還れるまち”の実現のため、「心と身体を癒し、自分に還る」ための居心地の良い場所(サードプレイス)をめざした公共図書館の運営。			
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	年度別事業費	64,374 千円	64,374 千円
	国・県支出金	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円
	その他	80 千円	80 千円
目的	一般財源	64,294 千円	64,294 千円
	心豊かで自立できる人が育つため、資料を利用した知的出合いと居心地のよい場による社会的交流を促す		

令和7年度の目標

- ・業務委託について適正に管理を行う。
- ・市役所各課及び関係機関等との連携を進め、市民の知りたい情報、役に立つ情報を提供する。
- ・子どもの読書活動を推進するため関係機関との連携を深める。

活動目標 特記事項	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	来館者数	人	210,000	210,000	210,000
	資料貸出し数	冊	258,000	258,000	258,000
施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します					

事業概要	事務事業名	新規・継続	事業優先順位
	公民館運営事業	継続	B
	会計・款・項・目	所管課	市長公約事項
	一般会計・10教育費・5社会教育費・3公民館費	文化財・生涯学習課	1:無
趣味や教養を高める学習とともに、地域課題に直結する学習と実践を支援する社会教育の拠点施設として、施設の維持管理を行う。			
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	年度別事業費	2,351 千円	2,361 千円
	国・県支出金	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円
	その他	2,052 千円	1,753 千円
目的	一般財源	299 千円	608 千円
	生涯学習による生きがいづくりの場を提供する施設として、公民館を運営・維持管理する。		
令和7年度の目標			

- ・利用者に支障をきたさないよう、施設の維持管理を行う。
- ・公民館施設の利用拡大のため、登録団体制度の有効活用を図る。

活動目標 特記事項	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	公民館運営審議会の開催回数	回	2	2	2
	こもろ女性の家を公民館に統合するため。				

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位		
公民館報発行事業	継続	B		
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・5社会教育費・3公民館費	文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要 広報こもろと併せた公民館報を編集し、発行する。				
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	年度別事業費	3,586 千円	3,586 千円	3,586 千円
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円	0 千円
目的	一般財源	3,586 千円	3,586 千円	3,586 千円
	生涯学習による生きがいづくりにつなげるために、各種講座・サークル・文化会館での催物・支館分館での取り組み等、学習情報を提供する。			
令和7年度の目標				
公民館活動が、年間にわたって、いつ、どこで、何の事業等を開催するかについて、分かりやすく伝わるよう、創意工夫を図る。				

活動目標	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	公民館報の発行回数	回	12	12	12
特記事項					

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位		
支館・分館支援事業	継続	B		
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・5社会教育費・3公民館費	文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要 公民館支館・分館が身近な学習の拠点として、地域の課題解決や担い手の育成など、地域活性化・まちづくりや地域防災につながる住民の主体的な学習と活動の支援をする。また、他の支館・分館活動の情報交換をする。				
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	年度別事業費	5,109 千円	5,109 千円	5,109 千円
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円	0 千円
目的	一般財源	5,109 千円	5,109 千円	5,109 千円
	公民館支館・分館が、学習と活動を結びつけて地域づくりにつなげる地域の拠点となるよう支援をする。			
令和7年度の目標				
・公民館役員研修会等において、各支館・分館の事業に参考になるよう、講演会や事例発表を行う。また、支館、分館の今後のあり方についても検討する。 ・引き続き、各支館・分館の事業に対し、交付金により側面的な支援を行う。				

活動目標	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	公民館役員研修会	回	3	3	3
特記事項					

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位		
学級・講座等開催事業	継続	B		
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・5社会教育費・3公民館費	文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要		・各種学級・講座等の企画・運営をする。 ・自主学習グループの育成指導等をする。		
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	年度別事業費	1,902 千円	1,902 千円	1,902 千円
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円	0 千円
目的	一般財源	1,902 千円	1,902 千円	1,902 千円
	市民の主体的な「学び」を促進するため、生涯学習の拠点として、幅広い年齢層の学習ニーズに応え、講座・教室や講演会を開催し、生涯学習の機会を創出する。			

令和7年度の目標

- ・アンケート等から市民のニーズの把握に努め、学級・講座等の内容について検討する。
- ・特に若い世代や男女を問わず参加しやすい講座を新たに実施する。

活動目標	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	公民館の講座参加者数	人	800	800	800
	公民館の講座数	回	100	100	100
特記事項					

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位		
二十歳を祝う会開催事業	継続	B		
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・5社会教育費・3公民館費	文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要		伝統儀式「成人式」から名称変更した「二十歳を祝う会」の対象者(実行委員会)による自主的運営を支援する。		
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	年度別事業費	480 千円	480 千円	480 千円
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円	0 千円
目的	一般財源	480 千円	480 千円	480 千円
	子どもから大人への過程の中で社会を担っていく責任や、文化を受け継ぎ、人の輪の広がりや人ととのふれあいからともに生きる意識づくりのために、二十歳を祝う会を行う。			

令和7年度の目標

- ・「二十歳を祝う会」対象者の代表で実行委員会を組織し、地域に根付いた特色ある式典の企画及び運営を行う。

活動目標	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	二十歳を祝う会の参加率	%	75	75	75
特記事項	令和7年度より、社会教育総務費運営費から事業を分け、「二十歳を祝う会開催事業」を新設。				

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位		
文化センター運営事業	継続	B		
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・5社会教育費・4文化センター費	文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要		文化会館等施設環境の整備をする。 市民文化の向上と文化振興を図るために、自主事業を開催する。また、貸館で、利用者の利便を図る。		
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	年度別事業費	44,180 千円	40,936 千円	40,916 千円
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	7,609 千円	4,678 千円	4,678 千円
目的	一般財源	36,571 千円	36,258 千円	36,238 千円
	文化発信の場とするために、文化会館等の維持管理と、文化団体との連携による自主事業を開催する。			

令和7年度の目標

- ・施設の管理を適切に行い、利用者が施設を安全に使えるよう維持管理を行う。
- ・鑑賞者を増やすため、若年層から高齢者層まで、幅広い世代が楽しめる自主公演を選定し、実施する。

活動目標	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	自主公演事業開催回数	回	3	3	3

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位		
小山敬三美術館運営事業	継続	B		
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・5社会教育費・5美術館・博物館費	文化財・生涯学習課	1:無		
事業概要		小山敬三美術館の運営・維持管理 (小山敬三に関する絵画作品ならびに資料等を収集し、長く安全に保管・展示することで、多くの人々に作品鑑賞の機会を提供し、多様な文化、歴史、感性があることを知つてもらう。)		
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	年度別事業費	12,244 千円	7,328 千円	7,468 千円
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	5,346 千円	646 千円	646 千円
目的	一般財源	6,898 千円	6,682 千円	6,822 千円
	小山敬三氏寄贈の趣旨により美術作品(洋画等)及び遺品を適正に保管展示し、地域文化の振興を図るとともに子どもたちの芸術への関心を高める。			

令和7年度の目標

- ・新収蔵作品の公開をはじめ、企画展の開催、講演会、写生会などを通し、作品鑑賞の場をより多く提供する。
- ・子どもたちに親しみをもって来館してもらうため、出前講座や出張美術館などを行い、「ふるさと学習」を推進する。
- ・開館50周年を迎え、記念事業の実施とともにPRを強化し、誘客を図る。

活動目標	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	入館者数	人	22,000	22,000	22,000
	令和7年度は開館50周年につき、記念事業を計画				

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位	
高原美術館・白鳥映雪館運営事業	継続	B	
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項	
一般会計・10教育費・5社会教育費・5美術館・博物館費	文化財・生涯学習課	1:無	
高原美術館・白鳥映雪館の運営・維持管理 (白鳥映雪をはじめとした地域に関連する美術作品ならびに資料等を収集し、長く安全に保管・展示することで、多くの人々に作品鑑賞の機会を提供し、多様な文化、歴史、感性があることを知つてもらう。)			
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費	20,659 千円	17,931 千円	18,112 千円
特定財源	国・県支出金 地方債 その他	0 千円 0 千円 3,012 千円	0 千円 0 千円 3,012 千円
目的	一般財源	17,647 千円	14,919 千円
			15,100 千円

令和7年度の目標

- ・館の維持管理・運営を適正かつ円滑に行うとともに、展示他活動の周知・宣伝に努め、入館者増を図る。
- ・老朽化が進む施設や設備について、修繕の必要な箇所を把握し、管理計画を策定する。
- ・企画展について、協議会に諮りながら年間計画に基づき開催する。多くの方に来館していただけるよう内容を工夫し、魅力ある展覧会の開催に努める。
- ・子どもたちに親しみをもって来館してもらうため、出前講座や出張美術館などを行い、「ふるさと学習」を推進する。

活動目標	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
入館者数	人	17,000	17,000	17,000	17,000
企画展等開催回数	回	10	10	10	10
特記事項	令和6年度から高原美術館・白鳥映雪館企画展開催事業を統合 令和6年度、実績を踏まえ活動目標を上方修正				

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位		
藤村記念館運営事業	継続	B		
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項		
一般会計・10教育費・5社会教育費・6記念館費	文化財・生涯学習課	1:無		
藤村記念館の運営・維持管理 (島崎藤村の遺墨、遺品及び関係資料を収集保管し、適正な管理を行いながら展示を行い、学術研究や市民の学習活動を支援する。)				
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
年度別事業費	2,721 千円	2,777 千円	2,624 千円	
特定財源	国・県支出金 地方債 その他	0 千円 0 千円 356 千円	0 千円 0 千円 356 千円	
目的	一般財源	2,365 千円	2,421 千円	2,268 千円
市民が主体的に学べる生涯学習の場として、島崎藤村が、1899年(明治32年)から1905年(明治38年)までの7年間、小諸で過ごした時代を中心とした資料から、その精神を今後も引き継ぎ、広く関係者と連携し発展させていく。				

令和7年度の目標

- ・「藤村文学講座」「企画展」等の開催により、義塾記念館と併せ、館の魅力を高める。
- ・近隣の関係施設等とのネットワークを広げ、調査研究の支援充実を図る。
- ・子どもたちに親しみをもって来館してもらうため、出前講座などにより、「ふるさと学習」を推進する。

活動目標	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
入館者数	人	34,000	34,000	34,000	34,000
藤村忌参加者	人	200	200	200	200
特記事項					

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位	
小諸義塾記念館運営事業	継続	B	
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項	
一般会計・10教育費・5社会教育費・6記念館費	文化財・生涯学習課	1:無	
小諸義塾記念館の運営・維持管理 (小諸義塾に関する資料を収集保管し、適正な管理を行いながら展示を行い、学術研究や市民の学習活動を支援する。)			
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費		1,095 千円	1,012 千円
特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円
	その他	8 千円	8 千円
一般財源		1,087 千円	1,004 千円
			1,004 千円
木村熊二を招き1893年(明治26年)に開校し、1906年(明治39年)閉塾まで小諸の中等教育の拠点であった「小諸義塾」に関する資料から、その精神を今後も引き継ぎ、広く関係者と連携し発展させていく。			
令和7年度の目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・藤村記念館と合わせ広報することにより、入館者を増やす。 ・開館時期、日数の試行運用を引き続き行い、適切な運営を検討する。 ・小諸義塾高校の発足が近いため、関心の高まりに対応できるよう、出前講座や研修等を通じて本来の小諸義塾についての周知を行い、入館者を増やす。 			

活動目標	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
入館者数	人	12,000	12,000	12,000	

施策 1-3 生涯にわたる市民の主体的な「学び」を促進し、「生涯学習社会」の実現を目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位			
高濱虚子記念館運営事業	継続	B			
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・5社会教育費・6記念館費	文化財・生涯学習課	1:無			
高濱虚子記念館の運営・維持管理 (高濱虚子に関する資料を収集し、保管し、及び展示して市民の知識及び教養の向上を図り、もって市民文化の振興に寄与する。)					
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
年度別事業費		3,723 千円	3,790 千円		
特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円		
	地方債	0 千円	0 千円		
	その他	181 千円	181 千円		
一般財源		3,542 千円	3,609 千円		
			3,609 千円		
市民が主体的に学べる生涯学習の場として、高濱虚子が、1944年(昭和19年)から1947年(昭和22年)までの3年間、小諸で過ごした時代を中心とした資料から、その精神を今後も引き継ぎ、広く関係者と連携し発展させていく。					
令和7年度の目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で極端に減少した入館者を呼び戻すため、地域の俳句関係者等と連携した取組を行う。 ・引き続き入館者が少ない冬季は閉館(予約制により開館)し、館運営の効率化を図る。 ・出前講座や総合学習の時間を通して小諸の子どもたちに俳句のことや虚子のことを伝えていき、小諸を大事にする思いを養うとともに、子どもたちに親しみをもって来館してもらうため「ふるさと学習」を推進する。 					
活動目標	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
入館者数	人	2,400	2,400	2,400	
こもろ・日盛俳句祭参加者数	人	180	180	180	

事務事業名			新規・継続
社会教育総務費人件費			継続
会計・款・項・目			所管課
一般会計・10教育費・5社会教育費・1社会教育総務費			文化財・生涯学習課
投 入 指 標	年度別事業費	令和7年度	令和8年度
	国・県支出金	135,295 千円	135,292 千円
	地方債	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円
一般財源		135,295 千円	135,292 千円

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1-4	かけがえのない文化財を保存・継承し、有効に活用します

所 管	文化財・生涯学習課
関 連	一
関 連	一
関 連	一
関 連	一
関 連	一

◆現状と課題

「古文書学習講座」「KOMORO HISTORY」「出前講座」などにより文化財に関する学びの機会を醸成しています。また、市内小中学校の「出前講座」の利用が増えています。

文化財の所有者・継承者の高齢化や後継者不足などにより、保存・継承・活用等が難しくなっています。

古文書の整理・調査を古文書調査室で行っていますが、収集・保存・展示・調査研究等を行う体制が不足しており、郷土の貴重な歴史的資料や古文書等の散逸が危惧されます。

旧郷土博物館は老朽化が著しく、収蔵品を移転させる必要があります。

旧小諸本陣(問屋場)の解体復原工事について、解体は終了し、本格的に復原工事に着手します。

◆方針

目的

小諸の歴史的、文化的なお宝や自然の素晴らしさなどを楽しみながら体験する「ふるさと学習」を推進し、ふるさとを愛し大切に思う、郷土愛あふれたこどもの育成に努めます。

個人や団体が所有・継承している文化財は、適切に保存・継承・活用等ができるよう、助言、情報提供、標識設置、管理・修繕費の補助等の支援を行います。

郷土の貴重な歴史的資料や古文書等が散逸しないよう、収集・保存・展示・研究等を一体的に行う体制の充実を図ります。また、旧郷土博物館の収蔵品の保管場所を検討します。

小諸市文化財保存活用基本方針に基づき、文化財を単に保存・継承するだけでなく、観光面等と連携を取り積極的な有効活用を図ります。旧小諸本陣(問屋場)では解体復原工事後の活用方法等を盛り込んだ保存活用計画の策定を進めます。

◆今後の取り組みのうち令和7年度重点方針と目標

- ・子どもたちの「ふるさと学習」を推進するため、史資料の整理など受入体制を強化する。
- ・個人や団体が所有・継承する文化財について、適切な保存のため、必要な経費に対し補助金を交付する。
- ・旧郷土博物館の収蔵品の保管場所について、場所及び時期の検討を行う。
- ・小諸城址懐古園の国名勝指定に向け、資料作成や関係者との協議などの準備を進める。
- ・旧北国街道沿いの本町・市町地区を中心とした歴史的町並みについて、保存活用に向けた検討を行う。
- ・旧小諸本陣の復原工事は令和9年度の完成を目指し進捗管理を行い、合わせて保存活用計画の策定や活用整備事業の検討を進める。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画

- ①文化財が適切に保存・継承されるとともに、観光面等で有効に活用されている状態。
- ②地域や住民が自ら、文化財を保存・継承するための活動が行われている状態。
- ③歴史的資料や古文書等の収集・保存・展示・研究等を一体的に行い、活用されている状態。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	伝統行事や文化財の保存・活用の状況に対する市民満足度(市民意識調査)					
設定理由	伝統行事や文化財の保存・活用の状況に満足と感じている人の割合が高くなれば、文化財の保存・継承・活用等が適切に行われていると考えられるから。					
算式	市民意識調査「伝統行事や文化財の保存・活用の状況」の「満足」、「やや満足」、「普通」の合計			単位	%	
目標値	計画策定時		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	69.8	計画	71	72	73	74
		実績				
指標名	指定文化財保護補助金、無形民俗文化財公開謝礼の申請数					
設定理由	指定文化財保護補助金、無形民俗文化財公開謝礼の活用により、文化財を保存・継承するための活動が行われていると考えられるから。					
算式	指定文化財保護補助金及び無形民俗文化財公開謝礼の申請数(実数)			単位	件	
目標値	計画策定時		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	17	計画	17	17	17	17
		実績				
指標名						
設定理由						
算式				単位		
目標値	計画策定時		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		計画				
		実績				

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

今後の方針

拡充

- ・小諸市文化財保存活用基本方針に基づき、文化財の適切な保存継承を図るとともに、活用方策を検討する。
- ・古文書調査室を中心に、歴史的な資料や文書の収集、整理、保存、研究等を進める。
- ・旧小諸本陣の解体復原工事を進め、合わせて復原後の文化・観光交流拠点として整備を進める。
- ・多くの市民に地域の歴史文化を知ってもらうため、文化財やふるさと遺産のPRや出前講座、学習会などの充実を図る。

◆個別計画

教育振興基本計画

◆特記事項

施策 1-4 かけがえのない文化財を保存・継承し、有効に活用します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位	
文化財保護活用事業	継続	B	
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項	
一般会計・10教育費・5社会教育費・1社会教育総務費	文化財・生涯学習課	1:無	
事業概要			
<p>・小諸市文化財保存活用基本方針に基づき、文化財を単に保存・継承するだけでなく、観光面と連携を取り積極的な活用を図る。</p> <p>・個人・団体が所有する文化財が、適切に保存・継承されるとともに、有効活用がなされるよう、助言、情報提供、標識設置、管理・修理費の補助等の支援を行う。</p> <p>・ふるさと「小諸」を愛し、大切に思う心を育み、歴史的、文化的なお宝や、自然のすばらしさを活かした「ふるさと学習」を進める。</p>			
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	年度別事業費	26,366 千円	25,893 千円
	国・県支出金	1,518 千円	1,500 千円
	地方債	0 千円	0 千円
	その他	14,798 千円	14,798 千円
一般財源		10,050 千円	9,595 千円
目的		市民の貴重な財産である文化財を永く後世に伝えるため、適切に保存・継承するとともに、観光面等に積極的に有効活用する。	

令和7年度の目標

- ・指定文化財保護補助金の交付等を軸に、市民の文化財の保存・継承・活用を推進する。
- ・埋蔵文化財の適切な保護措置のため、民間調査機関の導入も視野に入れた適切な保護措置を実施する。
- ・小諸城址懐古園の国名勝指定に向けた準備を行う。また、歴史ある建物や町並み等の保護方法を検討する。
- ・ふるさと学習のための史資料整理、および学習活動の普及を図る。

活動目標	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	埋蔵文化財に関する届出の受付件数	件	70	70	70
	文化財保護審議会の開催回数	回	2	2	2
特記事項					

施策 1-4 かけがえのない文化財を保存・継承し、有効に活用します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位	
旧小諸本陣建造物保存修理事業	継続	A	
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項	
一般会計・10教育費・5社会教育費・1社会教育総務費	文化財・生涯学習課	2:有	
事業概要			
<p>北国街道沿いにある「旧小諸本陣」は、城下町であり、尚且つ宿場町でもあった往時の小諸を偲ばせる貴重な建築物で、国の重要文化財にも指定されている。経年の損傷により著しく老朽化が進行しているため、これを往時の姿に復原し、永く後世に伝えるべく解体復原工事を実施する。</p> <p>また、貴重な文化財として、一般に公開し、観光資源として有効活用していくため、解体復原工事と合わせて防災および活用整備事業を行う。</p>			
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	年度別事業費	178,095 千円	173,751 千円
	国・県支出金	92,749 千円	73,008 千円
	地方債	68,800 千円	56,400 千円
	その他	0 千円	0 千円
一般財源		16,546 千円	44,343 千円
目的		国指定重要文化財である「旧小諸本陣」を往時の姿に復原し、永く後世に伝えるとともに、一般に公開し、観光資源として有効活用するため、解体復原工事および防災工事、活用整備事業を実施する。	

令和7年度の目標

- ・復原工事の進捗を図る。
- ・復原した建物の保存活用について関係者と協議し、検討を進める。
- ・広報等を使い事業の進捗状況を周知する。
- ・防災事業に着手する。
- ・活用を見据えた保存活用計画を策定する。

活動目標	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	解体復原および保存活用について協議する委員会等の開催	回	1	1	1
	工事現場見学会の開催	回	1	1	1
特記事項					

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1-5	スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

所 管	スポーツ課・国民スポーツ大会準備室
関 連	健康づくり課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

小諸市スポーツ推進計画の基本理念「歩こう・走ろう・坂のまち！～生涯スポーツで健康長寿～」に基づいたスポーツ施策として、子どもの運動プログラム活動、出前講座、スポーツ教室、学校開放事業など子どものスポーツ機会の充実や誰もが楽しめるスポーツを推進してきました。また、スポーツ大会の開催、スポーツ指導者の資質向上の支援など競技力の向上や市民の健全な心と健康・体力の増進の取組、高地環境を活かしたアスリートのトレーニングの誘致とトップアスリートとの交流など市民がスポーツに親しみ、まちの活性化や健康づくりにつなげる取組を推進しています。

ライフスタイルの変化などからスポーツニーズの多様化に対応するため、スポーツを身近に感じ、誰もがいつでもスポーツをしやすい環境づくりをさらに進める必要があります。

◆方針

目的

スポーツの力で小諸市を元気にします。子どもから高齢者まで誰もが心身ともに健康な状態であることを高めるため、スポーツを通じて地域、学校、家庭、社会のつながりや関わりを作り出し、多様なニーズに応える環境整備を進めていきます。特に子どものスポーツ機会の充実と体力向上は、生涯スポーツの実現の基礎となるため、学校はもとより地域のスポーツ環境の充実、魅力あるスポーツ体験、多様なニーズに応えるスポーツ指導者の養成や運動部活動の地域移行などのスポーツを身近に感じる取組を推進します。

小諸エリアを活用した高地トレーニングの展開からは、アスリートとの交流や高地トレーニング効果を応用した「坂のまち」の特色を活かした健康づくり、また、スポーツツーリズムなど観光・経済振興につなげる取組を推進します。

第82回国民スポーツ大会の小諸市でのレスリング競技会を成功させるため、施設環境の整備や関係団体等と連携して準備を進めるとともに、選手が育ち地域スポーツを支える環境や市民の関心と機運の高まりを活用したスポーツの振興を推進します。

◆今後の取り組みのうち令和7年度重点方針と目標

- ・中学校部活動の地域連携・地域クラブ活動への移行を進めるため、地域スポーツ団体等と協力して実証事業に取り組む。
- ・東海大学スポーツ医科学研究所などと連携して得られたデータを活用して市民の健康づくりに取り組む。
- ・第82回国民スポーツ大会小諸市準備委員会の事務局として関係機関、団体と連携、調整を行う。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画

- ①体育施設の利用などを通じて、地域でのスポーツに親しむ人が増え交流や活動が増える状態。
- ②市民がそれぞれの体力や年齢・技術・興味・目的などライフスタイルに応じてスポーツに親しむことができる状態。
- ③2028年の第82回国民スポーツ大会のレスリング競技開催準備が着実に進み、スポーツへの関心も高まっている状態。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	スポーツ・レクリエーション活動が行いやすい環境づくりに対する市民満足度(市民意識調査)				
設定理由	満足度が上がることにより、活動などの行いやすい環境の提供ができていると考えられるから。				
算 式	満足、やや満足、普通の合計数値				
目標値	計画策定時	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	59	計画 60	61	63	65
	実績				
指標名	スポーツを身近に感じるに対する市民満足度(市民意識調査)				
設定理由	スポーツを身近に感じている人の割合が高まれば、スポーツを通じた交流や活動などが増えていると考えられるから。				
算 式	そう思う、ややそう思うの合計数値				
目標値	計画策定時	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	36.3	計画 39	41	43	45
	実績				
指標名					
設定理由					
算 式					
目標値	計画策定時	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		計画			
		実績			

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

今後の方針	維持
-------	----

- ・スポーツ推進委員、スポーツ団体等と連携を強化し、地域における生涯スポーツの環境づくりを推進する。
- ・誰もが安全・安心にスポーツ施設を利用できるように適切な維持管理、需要に応じた施設運営を行う。
- ・小諸市エリア高地トレーニング推進協議会と連携し、高地トレーニングの展開から市民の健康づくりにつなげる取組を進めよう。
- ・第82回国民スポーツ大会小諸市準備委員会を中心に競技会の運営に向けて、準備を進める。

◆個別計画

教育振興基本計画／スポーツ推進計画

◆特記事項

施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事業概要	事務事業名	新規・継続	事業優先順位	
	保健体育総務費運営費	継続	B	
	会計・款・項・目	所管課	市長公約事項	
	一般会計・10教育費・6保健体育費・1保健体育総務費	スポーツ課	1:無	
・市民のスポーツの推進、振興を図るために、スポーツ推進審議会の開催、小諸市スポーツ協会をはじめ各スポーツ団体への助成等を行う。				
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	年度別事業費	4,702 千円	4,627 千円	4,667 千円
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円
	その他	67 千円	0 千円	0 千円
目的	一般財源	4,635 千円	4,627 千円	4,667 千円
	スポーツの推進・振興を通じ、市民の健康づくり及び体力の保持増進を図る。			

令和7年度の目標

各団体と連携し、大会や教室を開催して市民の健康維持・増進及びスポーツ振興を図る。

中学生の部活動地域移行に向けて関係団体と連携を図る。

活動目標特記事項	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	スポーツ推進審議会、スポーツ協会、競技団体等との協議の回数	回	40	40	40

施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事業概要	事務事業名	新規・継続	事業優先順位			
	スポーツ推進委員会運営事業	継続	B			
	会計・款・項・目	所管課	市長公約事項			
	一般会計・10教育費・6保健体育費・1保健体育総務費	スポーツ課	1:無			
市のスポーツ推進事業の実践を担うスポーツ推進委員の活動を支援する。						
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度			
	年度別事業費	1,160 千円	816 千円	857 千円		
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
	その他	0 千円	0 千円	0 千円		
目的	一般財源	1,160 千円	816 千円	857 千円		
	スポーツを通じて市民の健康維持・増進を図るために、市民への指導及び助言を行うスポーツ推進委員を育成する。					
令和7年度の目標						
・スポーツ推進委員の定例会でニュースポーツの研修を行い、委員のスキルアップを図ると共に出前講座等を開催し、市民へのニュースポーツの普及を図る。						
活動目標特記事項	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	出前講座、講習会・研修会等の回数(開催・参加)	回	15	15	15	

施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位	
スポーツ大会等運営事業	継続	B	
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項	
一般会計・10教育費・6保健体育費・1保健体育総務費	スポーツ課	1:無	
事業概要	幅広い年齢層に対応したスポーツ大会やスポーツ教室等を開催する。		
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費	3,867 千円	3,867 千円	3,867 千円
特定財源	国・県支出金 地方債 その他	0 千円 0 千円 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円
目的	市民のスポーツ参加意欲を向上させ、健康・体力の増進を図るとともに、スポーツに親しむ機会を提供する。		

令和7年度の目標

- ・参加者の減少などの競技があるため、競技団体と開催時期や大会の在り方など検討する。

活動目標	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
スポーツ大会数	大会		9	9	9
競技団体等主催市内スポーツ大会数	大会		90	92	94
特記事項					

施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位	
学校開放事業	継続	B	
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項	
一般会計・10教育費・6保健体育費・1保健体育総務費	スポーツ課	1:無	
事業概要	市内の小中学校の体育施設(校庭、体育館)を地域のスポーツクラブ、スポーツ団体等に開放する。		
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費	293 千円	293 千円	293 千円
特定財源	国・県支出金 地方債 その他	0 千円 0 千円 293 千円	0 千円 0 千円 293 千円
目的	市民が身近な施設でスポーツ活動に親しむことができるよう、学校教育に支障のない範囲で学校体育施設を開放し生涯スポーツの振興を図る。		

令和7年度の目標

- ・学校運営に支障がない範囲での施設利用ができるように学校と利用者の調整会議を開催し、円滑な施設利用を行う。
- ・安全で快適にスポーツが楽しむことができるよう施設整備や備品の更新等を行う。

活動目標	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
登録団体数	団体		52	53	54
利用件数	件		2,100	2,150	2,200
特記事項					

施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位			
高地トレーニング等推進事業	継続	B			
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・6保健体育費・1保健体育総務費	スポーツ課	2:有			
事業概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・高地トレーニング構想の推進として、合宿誘致及び当該合宿チーム等を支援する。 ・アスリートと子どもたちとの交流によるスポーツ振興を図る。 ・上記に必要な市施設の環境整備等を実施する。 					
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
年度別事業費	979 千円	635 千円	635 千円		
特定財源	国・県支出金 地方債 その他	0 千円 0 千円 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円		
目的	高地トレーニング環境の優位性を生かしスポーツ合宿の誘致を進め、地域ブランド力の向上を図るとともに、アスリートや競技団体選手と子どもたちの交流によるスポーツ振興やまちの活性化と地域づくりにつなげる。				
令和7年度の目標					
・東海大学スポーツ医科学研究所などと連携して得られたデータを活用して市民の健康づくりに取り組む。					
活動目標特記事項	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	高地トレーニング関係の延べ宿泊数	件	1,700	1,100	1,200

施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位			
体育施設運営費	継続	B			
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項			
一般会計・10教育費・6保健体育費・2体育施設費	スポーツ課	1:無			
事業概要					
教育委員会が管理する各体育施設及び付帯施設の維持管理 (南城公園マレットゴルフコース・南城公園内トイレ・乙女湖公園テニスコート・乙女湖公園ゲートボール場・乙女湖公園内トイレ・乙女湖公園内管理棟・市営野球場・平成の森マレットゴルフコース・御影マレットゴルフコース)					
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
年度別事業費	17,103 千円	9,478 千円	6,178 千円		
特定財源	国・県支出金 地方債 その他	0 千円 0 千円 7,980 千円	0 千円 0 千円 725 千円		
目的	市民が、それぞれの年齢や体力等に応じて安全・快適に利用できる体育施設の環境を整え、生涯スポーツの振興を図る。				
令和7年度の目標					
・各施設の現状把握を行い、適切な維持管理による施設の整備、機能向上を図り、安全で快適な利用ができるように努める。 ・施設利用者の多様なニーズに対応できる施設の運営を進める。					
活動目標特記事項	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	担当職員の巡回による施設点検の回数	回	52	52	52

施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位	
総合体育館等運営事業	継続	B	
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項	
一般会計・10教育費・6保健体育費・2体育施設費	スポーツ課	1:無	
事業概要	指定管理による体育施設の維持管理。 (総合体育館、武道館、アーチェリー場、すばく小諸、和田体育館、懐古射院)		
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費	19,603 千円	17,400 千円	16,900 千円
特定財源	国・県支出金 地方債 その他	0 千円 0 千円 0 千円	0 千円 0 千円 0 千円
目的	社会体育の拠点施設として指定管理者による施設の適切な維持管理を行うとともに、管理者による自主事業の展開により施設利用者の増を図る。		

令和7年度の目標

- ・指定管理者と情報共有しながら、適正な管理運営を進める。
- ・自主事業のPRなど体協各部と連携し、平日利用の促進を図る。
- ・2028年の国スポ開催に向けた施設整備等の準備を進める。
- ・利用者が安全で快適に利用できるよう適正な維持管理を行う。

活動目標	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合体育館利用者数	人	56,500	57,000	57,500	
特記事項					

施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位	
大栄小諸球場運営事業	継続	B	
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項	
一般会計・10教育費・6保健体育費・2体育施設費	スポーツ課	1:無	
事業概要	大栄小諸球場の施設及び付帯施設の維持管理。		
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別事業費	6,623 千円	6,634 千円	6,579 千円
特定財源	国・県支出金 地方債 その他	0 千円 0 千円 1,315 千円	0 千円 0 千円 1,850 千円
目的	安全で快適に使用できる環境を整えるための維持管理を行う。		

令和7年度の目標

- ・利用者が安全で快適に使用できるよう、計画的な整備及び機能向上を図る。
- ・新たな有料広告掲載可能な場所の検討を行い、自主財源確保の拡大を検討する。

活動目標	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
大栄小諸球場利用者数	人	20,000	20,500	21,000	
大栄小諸球場利用率	%	74	76	78	
特記事項					

施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位																
天池総合運動場運営事業	継続	B																
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項																
一般会計・10教育費・6保健体育費・2体育施設費	スポーツ課	1:無																
事業概要	天池総合運動場の施設及び付帯施設の維持管理																	
投入指標	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> <th>令和9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度別事業費</td><td>3,945 千円</td><td>4,548 千円</td><td>4,648 千円</td></tr> <tr> <td>特定財源</td><td>国・県支出金 地方債 その他</td><td>0 千円 0 千円 250 千円</td><td>0 千円 0 千円 250 千円</td></tr> <tr> <td>一般財源</td><td>3,695 千円</td><td>4,298 千円</td><td>4,398 千円</td></tr> </tbody> </table>			令和7年度	令和8年度	令和9年度	年度別事業費	3,945 千円	4,548 千円	4,648 千円	特定財源	国・県支出金 地方債 その他	0 千円 0 千円 250 千円	0 千円 0 千円 250 千円	一般財源	3,695 千円	4,298 千円	4,398 千円
	令和7年度	令和8年度	令和9年度															
年度別事業費	3,945 千円	4,548 千円	4,648 千円															
特定財源	国・県支出金 地方債 その他	0 千円 0 千円 250 千円	0 千円 0 千円 250 千円															
一般財源	3,695 千円	4,298 千円	4,398 千円															
目的	トップアスリートの高地トレーニング合宿の拠点施設とともに、利用者がそれぞれの目的に合わせて安全に使用できる施設として適切な維持管理を行う。																	

令和7年度の目標

- ・利用者が安全で快適に使用できる施設環境を維持するため、適切な維持管理を行う。
- ・高地トレーニング事業と連携し合宿利用者への練習環境の提供や、近隣地域での合宿者の施設利用の受入を行い、施設利用者の増加を図る。

活動目標特記事項	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	高地トレーニング合宿受入団体数	団体	17	19	21
	野球場、陸上競技場、サッカー場の利用団体数	団体	28	29	30
平成31年度より体育施設運営費から事業出し					

施策 1-5 スポーツを通じて、交流や活動が生まれるまちを目指します

事務事業名	新規・継続	事業優先順位																
国民スポーツ大会開催関係事業	継続	B																
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項																
一般会計・10教育費・6保健体育費・1保健体育総務費	スポーツ課	1:無																
事業概要	令和10年(2028年)の第82回国民スポーツ大会開催に向け、大会運営や大会開催に係る施設整備等を行う。																	
投入指標	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> <th>令和9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度別事業費</td><td>34,300 千円</td><td>6,300 千円</td><td>40,000 千円</td></tr> <tr> <td>特定財源</td><td>国・県支出金 地方債 その他</td><td>0 千円 0 千円 0 千円</td><td>5,600 千円 0 千円 0 千円</td></tr> <tr> <td>一般財源</td><td>34,300 千円</td><td>6,300 千円</td><td>34,400 千円</td></tr> </tbody> </table>			令和7年度	令和8年度	令和9年度	年度別事業費	34,300 千円	6,300 千円	40,000 千円	特定財源	国・県支出金 地方債 その他	0 千円 0 千円 0 千円	5,600 千円 0 千円 0 千円	一般財源	34,300 千円	6,300 千円	34,400 千円
	令和7年度	令和8年度	令和9年度															
年度別事業費	34,300 千円	6,300 千円	40,000 千円															
特定財源	国・県支出金 地方債 その他	0 千円 0 千円 0 千円	5,600 千円 0 千円 0 千円															
一般財源	34,300 千円	6,300 千円	34,400 千円															
目的	令和10年(2028年)の第82回国民スポーツ大会にてレスリング競技会の開催																	

令和7年度の目標

施設整備に向けた改修工事の実施設計を行う。

活動目標特記事項	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	準備委員会関連会議の開催	回	6	5	5
特記事項					

事務事業名			新規・継続
投 入 指 標	保健体育総務費人件費	会計・款・項・目	継続
	一般会計・10教育費・6保健体育費・1保健体育総務費		所管課
	年度別事業費	令和7年度	令和8年度
	国・県支出金	34,381 千円	34,381 千円
	地方債	0 千円	0 千円
特 定 財 源		その他	0 千円
一 般 財 源		34,381 千円	34,381 千円
令和9年度			34,381 千円

政策 1	心豊かで自立できる人が育つまち
施策 1-6	市民の人権意識を高めます

所 管	人権政策課
関 連	人権同和教育課
関 連	一
関 連	一
関 連	一
関 連	一

◆現状と課題

同和問題をはじめ、女性、こども、高齢者、障がい者、外国人、犯罪被害者等に対する様々な差別や人権問題が今も存在し、近年では、インターネットやSNS上でのいじめや人権侵害が問題となっています。このような状況を踏まえ、あらゆる差別に対する教育や啓発などにより人権意識を高める必要があります。

また、性別による固定的な役割分担意識や慣習等が家庭や地域に存在しており、女性の社会参画を阻害するばかりでなく、男性にとっても生き方の選択肢を狭めてしまう要因となっています。このような社会の慣習等にとらわれないような、男性・女性それぞれの意識改革が重要であり、子育てや介護の場面でも男女が共同して家族としての責任を果たすとともに、地域社会で支える体制の構築が必要です。

◆方針

目的

差別のない、すべての人の人権が尊重される社会の実現を図るために、「知ること」「気づけること」「行動につなげること」を意識し、学校人権同和教育では、差別があることを学び人権感覚が身につくよう人権啓発作品コンクール等の取組を推進します。社会人権同和教育では、地域や企業とも連携し地域ごとの学習会や企業内教育により人権感覚を磨きます。

男女共同参画の推進に向けて、関係機関との連携により働きやすい環境づくりやワーク・ライフ・バランスの重要性について、企業等に情報提供し啓発を図ります。また、あらゆる世代における固定的な役割分担意識の払拭や意識改革に向け啓発活動を行います。

あらゆる差別や偏見などの人権問題やインターネット上の誹謗中傷などの人権侵害の把握に努め、安心して人権問題の相談ができるよう関係機関と連携した支援体制の充実を目指します。

◆今後の取り組みのうち令和7年度重点方針と目標

- ・地域における人権教育の場である人権懇談会を多くの区で開催できるよう働きかける。
- ・公民館と共に人権同和教育研修講座で様々な人権課題を取り上げ、広く人権について学ぶ機会をつくる。
- ・企業の雇用者側の意識改革を促し、男性の家事・育児参画を推進する男女共同参画セミナーを開催する。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画

- ①市民が、家庭、地域、学校、企業等の様々な場において、人権に関する知識が得られ、様々な人々との交流の機会を通じ、差別や偏見等に気づくことができる人権感覚が身についた状態。
- ②男女共同参画及びジェンダー平等社会が実現できた状態。
- ③市民が、人権問題について、必要なときに相談ができ、解決に向けた支援が受けられる状態。

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	1年以内に、差別や偏見など人権を侵害されたことがある人の割合(市民意識調査)					
設定理由	人権を侵害されたことがある人の割合が低くなれば、市民の意識が高まったと考えられるから。					
算式	こもろ・まちづくり市民意識調査による人権侵害の経験の有無					単位 %
目標値	計画策定時		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	9.1	計画	0	0	0	0
指標名	審議会委員等への女性の参画率					
設定理由	上記の指標が高くなれば、男女共同参画及びジェンダー平等社会の実現に近づくと考えられるから。					
算式	審議会委員等への女性の参画率調査(毎年4月1日現在)					単位 %
目標値	計画策定時		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	39.7	計画	45	45	45	45
指標名	困っているときに相談できる人がいる割合					
設定理由	困っている時に相談できる人がいることが、「優しさ」や「つながり」に結びつくから。					
算式						単位 %
目標値	計画策定時		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	51.7	計画	52	53	54	55
実績						

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

今後の方針	維持
-------	----

・家庭、地域、学校、企業等の様々な場において、部落差別をはじめとした多くの人権課題に対する研修、啓発、情報提供に努める。
・部落差別をはじめ、あらゆる差別の解消に向けた取組みの拠点として、人権センターの交流、啓発活動、相談等の機能をさらに高める。
・男女共同参画づくりに向けて、女性の活躍の推進、ワークライフバランス、性の多様性など、情報提供及び啓発に努める。
・外国籍市民くらしの相談、日本語教室、交流活躍の推進など、生活する外国人に対する事業の充実と国際理解に向けた啓発に努める。

◆個別計画

教育振興基本計画／部落差別等あらゆる差別をなくす総合計画／男女共同参画こもろプラン

◆特記事項

--

施策 1-6 市民の人権意識を高めます

事業概要	事務事業名	新規・継続	事業優先順位
	隣保館運営事業	継続	B
	会計・款・項・目	所管課	市長公約事項
	一般会計・3民生費・6人権政策費・2隣保館運営費	人権政策課	1:無
・人権啓発の拠点としての人権センターの運営			
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	年度別事業費	14,741 千円	11,722 千円
特定財源	国・県支出金	4,500 千円	4,500 千円
	地方債	0 千円	0 千円
	その他	202 千円	202 千円
一般財源		10,039 千円	7,020 千円
人権センターを人権啓発の拠点、地域に開かれたコミュニティーセンターとして、各種事業を展開しながら、地域福祉の向上と部落差別等あらゆる差別の根絶に向けた人権意識の高揚を図る。			

令和7年度の目標

- ・センター自主事業を開催し、学習、啓発、交流を通じて、人権意識の高まりを目指す。
- ・人権フェスティバルを開催し、学習、啓発、交流を通じて、人権意識の高まりを目指す。

活動目標 特記事項	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	人権フェスティバルの開催	回	1	1	1
文化、教養事業の実施回数		回	79	79	79

施策 1-6 市民の人権意識を高めます

事業概要	事務事業名	新規・継続	事業優先順位
	男女共同参画推進事業	継続	B
	会計・款・項・目	所管課	市長公約事項
	一般会計・3民生費・6人権政策費・3男女共同参画推進費	人権政策課	2:有
・男女共同参画推進のための各種講演会、研修会等の啓発活動の実施			
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	年度別事業費	139 千円	209 千円
特定財源	国・県支出金	43 千円	43 千円
	地方債	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円
一般財源		96 千円	166 千円
男女の違いを正しく認め合った上で、互いに尊敬しあい、一人ひとりが社会のあらゆる分野で個性と能力を発揮できる男女共同参画社会づくりを推進するため。			

令和7年度の目標

- ・男女共同参画セミナーを開催し、男女共同参画社会への意識の高まりを目指す。
- ・女性ネットの活動を行い、女性リーダーの育成を図る。
- ・市内企業の男女共同参画社会への意識を高めるため、企業を中心とした啓発を行う。

活動目標 特記事項	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	審議会、委員会等の委員に女性が占める割合	%	45	45	45

施策 1-6 市民の人権意識を高めます

事務事業名	新規・継続	事業優先順位																											
多文化共生推進事業	継続	B																											
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項																											
一般会計・3民生費・6人権政策費・4多文化共生推進費	人権政策課	1:無																											
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・相談等による外国籍市民の地域生活の支援 ・外国籍市民の日本語学習の支援 ・外国籍市民支援ボランティアの育成 ・国際交流事業の支援 																												
投入指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> <th>令和9年度</th> </tr> <tr> <th colspan="2">年度別事業費</th> <th>295 千円</th> <th>284 千円</th> <th>284 千円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">特定財源</td> <td>国・県支出金</td> <td>0 千円</td> <td>0 千円</td> <td>0 千円</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0 千円</td> <td>0 千円</td> <td>0 千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0 千円</td> <td>0 千円</td> <td>0 千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>295 千円</td> <td>284 千円</td> <td>284 千円</td> </tr> </tbody> </table>			令和7年度	令和8年度	令和9年度	年度別事業費		295 千円	284 千円	284 千円	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	その他	0 千円	0 千円	0 千円	一般財源	295 千円	284 千円	284 千円	
		令和7年度	令和8年度	令和9年度																									
年度別事業費		295 千円	284 千円	284 千円																									
特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円																									
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円																									
	その他	0 千円	0 千円	0 千円																									
一般財源	295 千円	284 千円	284 千円																										
目的	互いの人権を尊重し、国際感覚を高め、文化や個性の違いを認め合う意識を醸成するため、交流事業を行う。外国籍市民が日常生活に必要な情報を知り、コミュニケーション力を高めるため、くらしの相談や日本語学習支援、支援ボランティアの育成を行う。																												

令和7年度の目標

- ・外国籍暮らしの相談事業を行い、外国籍住民の生活の利便を図る。
- ・小諸日本語教室を開き、外国籍住民等の生活の利便と、地域住民とのコミュニケーションの向上を図る。
- ・日本語ボランティア学習会を開催する。

活動目標	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	日本語学習支援教室開催回数	回	60	60	60
	日本語学習支援セミナー等の開催回数	回	1	1	1
特記事項					

施策 1-6 市民の人権意識を高めます

事務事業名	新規・継続	事業優先順位																											
人権同和教育推進事業	継続	B																											
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項																											
一般会計・10教育費・4人権同和教育費・1人権同和教育費	人権同和教育課	1:無																											
事業概要	人権同和教育を学校、地域、企業等で推進する。																												
投入指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> <th>令和9年度</th> </tr> <tr> <th colspan="2">年度別事業費</th> <th>2,459 千円</th> <th>2,459 千円</th> <th>2,430 千円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">特定財源</td> <td>国・県支出金</td> <td>160 千円</td> <td>160 千円</td> <td>125 千円</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0 千円</td> <td>0 千円</td> <td>0 千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>120 千円</td> <td>120 千円</td> <td>120 千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>2,179 千円</td> <td>2,179 千円</td> <td>2,185 千円</td> </tr> </tbody> </table>			令和7年度	令和8年度	令和9年度	年度別事業費		2,459 千円	2,459 千円	2,430 千円	特定財源	国・県支出金	160 千円	160 千円	125 千円	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	その他	120 千円	120 千円	120 千円	一般財源	2,179 千円	2,179 千円	2,185 千円	
		令和7年度	令和8年度	令和9年度																									
年度別事業費		2,459 千円	2,459 千円	2,430 千円																									
特定財源	国・県支出金	160 千円	160 千円	125 千円																									
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円																									
	その他	120 千円	120 千円	120 千円																									
一般財源	2,179 千円	2,179 千円	2,185 千円																										
目的	市民の人権意識が高まり、学校・企業・地域などあらゆる分野で差別や偏見のない社会実現のため、人権に関する教育を実施するとともに、啓発活動を行う。																												

令和7年度の目標

- ・人権問題学習講座を開催し、市民の人権意識の向上を図る。
- ・人権懇談会を開催し、市民の人権意識の向上を図る。
- ・公民館人権同和教育研修講座を公民館と共に開催し、市民の人権意識の向上を図る。
- ・小諸市に赴任した教職員等を対象とした新任転任教職員等人権同和教育研修会等を開催し、同和問題の理解を促す。
- ・企業に対して人権啓発を行う。

活動目標	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	人権同和教育推進委員会研修会の開催回数	回	2	2	2
	人権懇談会の開催区数	区	68	68	68
特記事項	活動指標②「人権同和教育推進委員会(助言者会)の開催」(人権懇談会の充実を図るために助言者会を開催し、専門的な意見を集約することが必要だから。:目標3回)をR3年度から「人権懇談会開催区数」に変更				

施策 1-6 市民の人権意識を高めます

事務事業名	新規・継続	事業優先順位				
人権同和教育促進事業	継続	B				
会計・款・項・目	所管課	市長公約事項				
一般会計・10教育費・4人権同和教育費・1人権同和教育費	人権同和教育課	1:無				
事業概要 ・解放子ども会の運営						
投入指標	令和7年度	令和8年度	令和9年度			
	年度別事業費	188 千円	188 千円	188 千円		
	国・県支出金	25 千円	25 千円	25 千円		
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
	その他	0 千円	0 千円	0 千円		
目的	一般財源	163 千円	163 千円	163 千円		
	同和地区の子どもたちが「差別を見抜き、差別を許さず、差別と闘う」力を身につけるとともに、仲間づくりを行う場としての解放子ども会を運営する。					
令和7年度の目標						
・子ども会を開催し、学習を通じて差別に負けない子どもを育成する。 ・会員の減少に伴う今後の解放子ども会の方向について検討する。						
活動目標特記事項	指標名	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	解放子ども会の開催回数(交流会含む)	回	15	15	15	

事務事業名			新規・継続
人権同和政策総務費運営費			継続
会計・款・項・目			所管課
一般会計・3民生費・6人権政策費・1人権同和政策総務費			人権政策課
投入指標	年度別事業費	令和7年度	令和8年度
特 定 財 源	国・県支出金	5,133 千円	5,750 千円
	地方債	0 千円	0 千円
	その他	429 千円	429 千円
	一 般 財 源	4,704 千円	5,321 千円
事務事業名			新規・継続
人権同和政策総務費人件費			継続
会計・款・項・目			所管課
一般会計・3民生費・6人権政策費・1人権同和政策総務費			人権政策課
投入指標	年度別事業費	令和7年度	令和8年度
特 定 財 源	国・県支出金	25,213 千円	25,213 千円
	地方債	0 千円	0 千円
	その他	0 千円	0 千円
	一 般 財 源	25,213 千円	25,213 千円